

目次

★ 発生動向総覧	P1~3
★ 感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況	P3
★ 指定届出機関からの特記事項欄コメント	P3~5
★ 全数把握感染症集計表	P6
★ 定点把握感染症集計表	P7~11
★ 定点把握感染症推移グラフ	P12~16
★ 定点把握感染症集計表(月報)	P17~20
★ 定点把握感染症推移グラフ(月報)	P21~22
★ インフルエンザの流行状況	P23
★ 県内のインフルエンザの流行状況が警報レベルとなりました！(11/30 報道提供)	P24~27
★ 新型コロナウイルス感染症の状況	P28~



発生動向総覧

◆全数届出の感染症

- 1類感染症 報告なし
- 2類感染症 結核(浜松市(4))
- 3類感染症 報告なし
- 4類感染症 レジオネラ症(浜松市(1))
- 5類感染症 ウイルス性肝炎(浜松市(2))、急性脳炎(浜松市(1))
侵襲性インフルエンザ菌感染症(浜松市(2))、梅毒(浜松市(3))

◆定点把握の対象となる5類感染症(週報対象のもの)

環境衛生科学研究所
感染症情報センター

感染症発生動向調査

令和5年第47週(11/20～11/26)の動向

警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつづくと疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値(開始基準値)以上で開始し、別の基準値(終息基準値)未滿で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

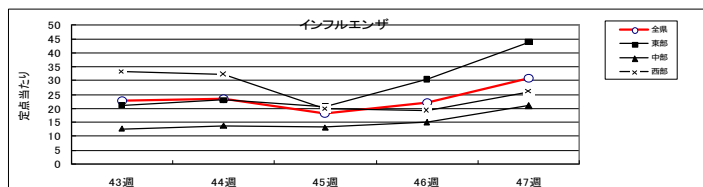
疾病	警報レベル		注意報レベル 基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

【今週のコメント】

第47週(11/20～11/26)の感染症発生動向調査では、静岡県内のインフルエンザの定点当たり報告数が30.96人となり、前週の21.98人から増加し、警報レベルの開始基準値30を上回りました。

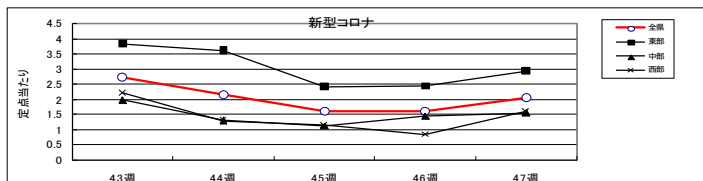
【インフルエンザ】

全県で罹患数4,303、定点当たり30.96の患者発生があり、前週の21.98から増加した。定点当たりは、東部地区で43.94、中部地区で21.05、西部地区で26の発生があった。全県で、警報レベルの開始基準値30を超えた。



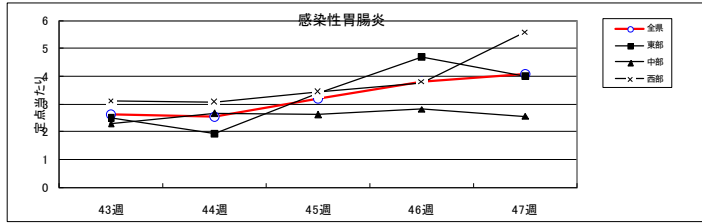
【新型コロナ】

全県で罹患数287、定点当たり2.06の患者発生があり、前週の1.6から増加した。定点当たり東部地区で2.94、中部地区で1.55、西部地区で1.6の患者が発生した。



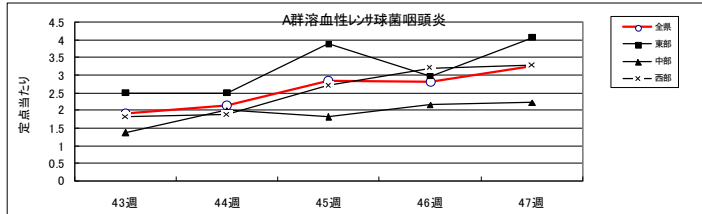
【感染性胃腸炎】

全県で罹患数364、定点当たり4.09の患者発生があり、前週の3.81から増加した。定点当たり東部地区で4、中部地区で2.56、西部地区で5.57の患者が発生した。



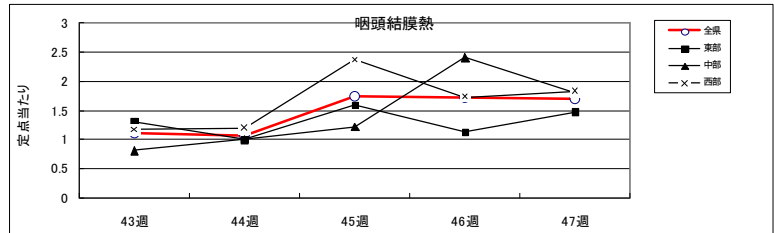
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

全県で罹患数288、定点当たり3.24の患者発生があり、前週の2.8から増加した。定点当たり東部地区で4.06、中部地区で2.22、西部地区で3.27の患者が発生した。



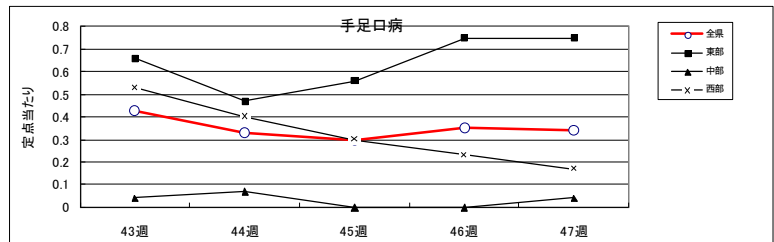
【咽頭結膜熱】

全県で罹患数151、定点当たり1.7の患者発生があり、前週の1.72から僅かながら減少した。定点当たり東部地区で1.47、中部地区で1.81、西部地区で1.83の患者が発生した。



【手足口病】

全県で罹患数30、定点当たり0.34の患者発生があり、前週の0.35から僅かながら減少した。定点当たり東部地区で0.75、中部地区で0.04、西部地区で0.17の患者が発生した。

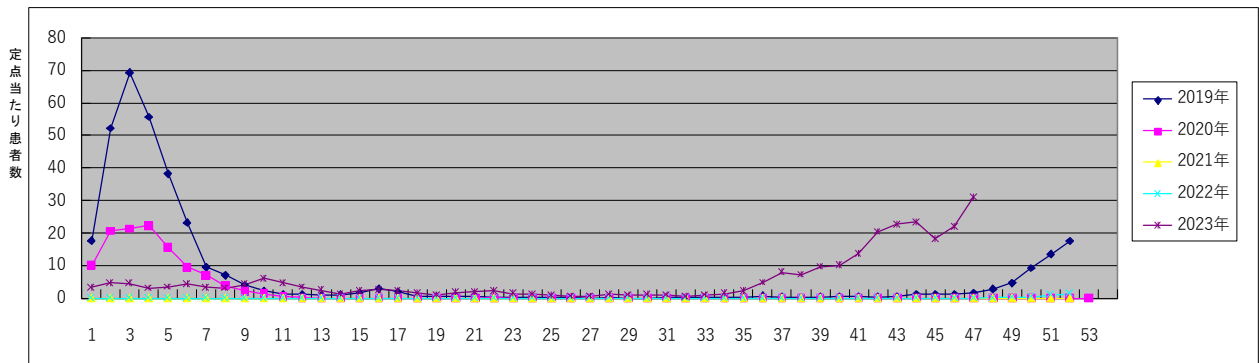


・麻疹、風疹は患者発生なし。

・全国のインフルエンザの発生は28.3で前週の21.66から増加した。警報レベルの保健所を有する都道府県は42から44に増加、注意報レベルの保健所を有する都道府県は46から44に減少した。

・静岡県において第47週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に(1)インフルエンザ(30.96)、(2)感染性胃腸炎(4.09)、(3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(3.24)、(4)新型コロナウイルス(2.06)、(5)咽頭結膜熱(1.7)、(6)流行性角結膜炎(0.73)であった。

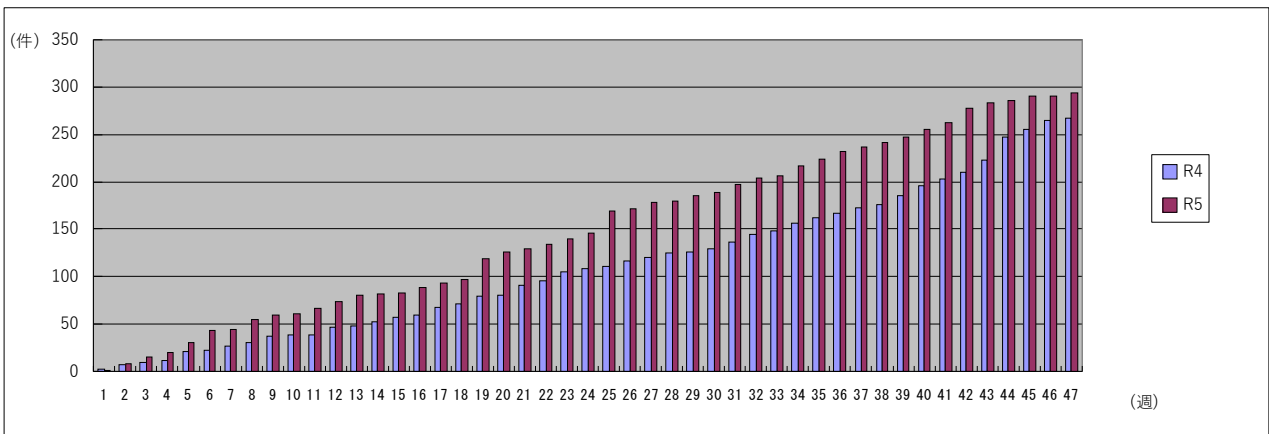
【インフルエンザ罹患数推移】



週	型	A/H1	A/H3	B/山形	B/Victoria
		pdm09		系統	系統
R5年 第40週	静岡県	8	6		
	静岡市	1	1		
	浜松市				
R5年 第41週	静岡県	5	4		
	静岡市				
	浜松市				
R5年 第42週	静岡県	2	7		
	静岡市	2	4		
	浜松市		1		
R5年 第43週	静岡県	2	5		
	静岡市	1			
	浜松市		4		
R5年 第44週	静岡県	1	7		
	静岡市	1	2		
	浜松市		1		
R5年 第45週	静岡県	2	6		
	静岡市		1		
	浜松市	1	4		
R5年 第46週	静岡県	2	2		
	静岡市				
	浜松市	1	5		
R5年 第47週	静岡県		4		
	静岡市	1	1		
	浜松市	2	5		2

【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】

・第47週は前年同期比1.1倍の増加となった。



◆感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況

- 警報 インフルエンザ(東部、御殿場、富士、西部)、咽頭結膜熱(御殿場、西部)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(御殿場)
- 注意報 インフルエンザ(熱海、静岡市、中部、浜松市)



指定届出機関からの特記事項欄コメント

感染症第47週(令和5年11月20日～令和5年11月26日)

かわづクリニック(河津町)「ヒトメタニューモ 3名(3歳女児、4歳女児、4歳男児)、エルシニア胃腸炎 1名(8歳男児)」

高野医院(伊東市)「インフルエンザA型 19名、新型コロナ 2名」

函南平出クリニック(函南町)「インフルエンザA型 154名、咽頭アデノ 21名、眼アデノ 1名、ヘルパンギーナ 4名、溶連菌 20名、手足口病 7名」
クボタ小児科(三島市)「インフルエンザA型 65名、ヒトメタニューモ 1名(3か月男児)」
白十字小児科医院(沼津市)「インフルエンザB型 1名(8歳女児)」
よざ小児科医院(沼津市)「インフルエンザA型 57名」
光ヶ丘小児科(三島市)「新型コロナ 1名、インフルエンザA型 177名、ノロ 2名、咽頭アデノ 17名、流行性角結膜炎 2名」
なかがわ医院(小山町)「インフルエンザA型 33名」
安田内科小児科医院(御殿場市)「インフルエンザA型 282名、新型コロナ 21名」
富士病院(御殿場市)「インフルエンザA型 149名、インフルエンザB型 1名」
たうち小児科医院(御殿場市)「インフルエンザA型 268名」
お八幡医院(御殿場市)「インフルエンザA型 33名」
小川小児科内科医院(富士市)「インフルエンザA型 130名、インフルエンザB型 3名、新型コロナ 13名」
木村内科医院(富士市)「新型コロナ 1名」
共立蒲原総合病院・内科(富士市)「インフルエンザ 15名、新型コロナ 7名」
共立蒲原総合病院・小児科(富士市)「インフルエンザ 11名」
幸治小児科医院(富士市)「インフルエンザ 37名、新型コロナ 12名」
聖隷富士病院(富士市)「インフルエンザA型 2名、新型コロナ 9名」
瀬尾小児科内科医院(富士市)「インフルエンザ 48名、新型コロナ 2名」
田子浦クリニック(富士市)「インフルエンザ 59名、新型コロナ 4名、ヘルペス歯肉口内炎 1名」
谷口小児科医院(富士宮市)「インフルエンザ 57名、新型コロナ 1名」
永松医院(富士宮市)「インフルエンザ 13名、新型コロナ 1名」
南陽堂内科循環器科クリニック(富士宮市)「インフルエンザ 1名、新型コロナ 1名」
平野医院(富士市)「新型コロナ 1名」
富士市立中央病院(富士市)「インフルエンザ 5名、新型コロナ 3名」
富士宮市立病院(富士宮市)「インフルエンザ 13名」
三浦医院(富士宮市)「インフルエンザ 139名、新型コロナ 4名」
水野医院(島田市)「インフルエンザA型 6名(10~14歳男児2名、15~19歳男性1名・女性1名、20~29歳女性1名、30~39歳女性1名)」
むらまつファミリークリニック(藤枝市)「インフルエンザA型 14名(6~11か月男児1名、2歳男児1名、3歳女児2名、4歳男児2名・女児1名、5歳女児1名、9歳女児1名、10~14歳男児2名、30~39歳男性1名・女性2名)」
伊藤医院(湖西市)「インフルエンザA型 2名」
ふたばクリニック(磐田市)「インフルエンザA型 16名」
きもと小児科(湖西市)「インフルエンザA型 17名」
クリニックパパ(浜松市)「ヒトメタニューモ 3名、咽頭アデノ 24名、インフルエンザA型 30名」
今西こどもクリニック(浜松市)「咽頭アデノ 4名、インフルエンザA型 46名、インフルエン

ザB型 2名」

げんきこどもクリニック(浜松市)「インフルエンザA型 42名、インフルエンザB型 1名」

いぬかい小児科(浜松市)「インフルエンザA型 103名、インフルエンザB型 6名」

幸田子供クリニック(浜松市)「インフルエンザA型 23名」

天童こども医院(浜松市)「咽頭アデノ 4名、インフルエンザA型 55名、インフルエンザB型 12名」

小児科竹内医院(浜松市)「インフルエンザA型 52名、インフルエンザB型 4名」

金指こどもクリニック(浜松市)「インフルエンザB型 3名」

縣医院(浜松市)「インフルエンザA型 20名、インフルエンザB型 5名」

おおば小児科(浜松市)「インフルエンザA型 59名」

くまがいクリニック(浜松市)「インフルエンザA型 16名、インフルエンザB型 1名」

※特記事項欄コメントによるインフルエンザウイルス型別状況(2023-2024シーズン累計)

区分	報告数	割合
インフルエンザA型	9,650名	99.2%
インフルエンザB型	82名	0.8%

静岡県の感染症週報はホームページでも御覧いただけます。

(「静岡県 感染症情報センター」で検索)

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>

疾患名	区分	静岡県						全国						
		42週	43週	44週	45週	46週	今週	年累計	44週	45週	46週	今週	年累計	
エボラ出血熱														
クリミア・コンゴ出血熱														
痘そう														
南米出血熱														
ペスト														
マールブルグ病														
ラッサ熱														
急性灰白髄炎														
結核		5	6	6	6	3	4	311	206	233	239	195	12,923	
ジフテリア														
重症急性呼吸器症候群(SARS)														
中東呼吸器症候群(MERS)														
鳥インフルエンザH5N1														
鳥インフルエンザH7N9														
コレラ													2	
細菌性赤痢											1	1	38	
腸管出血性大腸菌感染症		3	3	2	5	11		65	112	52	87	60	3,566	
腸チフス									1				35	
パラチフス													8	
E型肝炎								6	1	4	10	7	485	
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)														
A型肝炎										2	1		50	
エキノコックス症											1		13	
エムボックス								1		4	1	1	217	
賞熱														
オウム病													8	
オムスク出血熱														
回帰熱													21	
キャサスル森林病														
Q熱														
狂犬病														
コクシジオイデス症										1		1	4	
ジカウイルス感染症													1	
重症熱性血小板減少症候群								3			2	1	131	
腎症候性出血熱														
西部ウマ脳炎														
ダニ媒介脳炎														
炭疽														
テングニア熱									1				7	
つつが虫病				1				1	9	33	31	40	248	
デング熱			1					2	7	6	6	4	156	
東部ウマ脳炎														
鳥インフルエンザ														
ニパウイルス感染症														
日本紅斑熱		1						7	18	7	6	2	495	
日本脳炎		1						1		1	1		6	
ハンタウイルス肺症候群														
Bウイルス病														
鼻疽														
ブルセラ症													2	
ベネズエラウマ脳炎														
ヘンドラウイルス感染症														
亮しんチフス														
ボツリヌス症														
マラリア										1	1	3	32	
野兔病														
ライム病													29	
リッサウイルス感染症														
リフトバレー熱														
類鼻疽														
レジオネラ症		1	2					1	56	28	40	33	41	2,074
レプトスピラ症									5	2	1		48	
ロッキー山紅斑熱														
アマーバ赤痢													11	434
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)								2	5		4	1	5	219
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		1		1					22	35	32	36	35	1,890
急性弛緩性麻痺											1		2	53
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)								1	22	13	8	8	11	543
クリプトスポリジウム症										1				11
クロイツフェルト・ヤコブ病									7	3	3	2	2	145
劇症型溶血性レンサ球菌感染症									19	10	17	16	15	784
後天性免疫不全症候群									15	8	15	9	7	843
ジアルジア症									2				1	36
優勢性インフルエンザ菌感染症								2	13	4	6	4	8	493
優勢性髄膜炎菌感染症										1				16
優勢性肺炎球菌感染症					1				30	28	38	33	37	1,636
水痘(入院例に限る)									12	7	4	6	6	342
先天性風しん症候群														
梅毒		4	2	3	2	1	3	294	166	201	174	139	13,490	
播種性クリプトコックス症				1				3	3		1	1	1	153
破傷風					1			3	2	4	2			99
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症														
バンコマイシン耐性腸球菌感染症								11	4	3	1			110
百日咳								9	19	22	27	9		893
風しん														11
麻疹								2						25
薬剤耐性アシネトバクター感染症														13
新型インフルエンザ等感染症														

※医療機関から届出の追加や取り下げがあった場合、増減することがあります。

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムボックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変わりました。

定点把握感染症集計表(届出数)

2023年 47 週

	静岡県							全国				
	42週	43週	44週	45週	46週	今週	計	44週	45週	46週	今週	計
RSウイルス感染症	2	5	3	7	3	3	23	193	205	182	176	756
咽頭結膜熱	139	99	95	155	153	151	792	7,718	10,173	10,368	11,139	39,398
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	125	171	190	254	249	288	1,277	9,568	10,523	11,893	12,146	44,130
感染性胃腸炎	219	235	226	283	339	364	1,666	9,823	11,671	13,705	13,781	48,980
水痘	2	6	11	9	11	7	46	320	427	402	363	1,512
手足口病	44	38	29	27	31	30	199	2,298	2,301	2,398	1,924	8,921
伝染性紅斑	2	8	2	2		1	15	30	32	43	45	150
突発性発しん	30	19	19	30	16	15	129	664	762	714	631	2,771
ヘルパンギーナ	14	10	5	2	6	6	43	367	377	333	276	1,353
流行性耳下腺炎	1	3	5	5	3	2	19	106	139	105	71	421
インフルエンザ	2,833	3,147	3,239	2,518	3,055	4,303	19,095	104,359	85,766	106,940	139,914	436,979
新型コロナウイルス感染症	478	379	297	222	222	287	1,885	12,065	9,941	9,648	11,499	43,153
急性出血性結膜炎								8	5	12	11	36
流行性角結膜炎	6	11	13	25	10	16	81	564	644	665	658	2,531
細菌性髄膜炎					1		1	11	9	8	6	25
無菌性髄膜炎		1	1				3	9	10	15	13	44
マイコプラズマ肺炎	1		1	1			3	28	34	25	35	122
クラミジア肺炎(オウム病は除く)								1	1	1		3
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)									1	2		3

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症集計表(定点当り)

2023年 47 週

	静岡県						全国			
	第42週	第43週	第44週	第45週	第46週	今週	第44週	第45週	第46週	今週
RSウイルス感染症	0.02	0.06	0.03	0.08	0.03	0.03	0.06	0.07	0.06	0.06
咽頭結膜熱	1.56	1.11	1.07	1.74	1.72	1.70	2.45	3.23	3.30	3.54
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.40	1.92	2.13	2.85	2.80	3.24	3.04	3.34	3.79	3.86
感染性胃腸炎	2.46	2.64	2.54	3.18	3.81	4.09	3.12	3.71	4.36	4.38
水痘	0.02	0.07	0.12	0.10	0.12	0.08	0.10	0.14	0.13	0.12
手足口病	0.49	0.43	0.33	0.30	0.35	0.34	0.73	0.73	0.76	0.61
伝染性紅斑	0.02	0.09	0.00	0.02		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
突発性発しん	0.34	0.21	0.21	0.34	0.18	0.17	0.21	0.24	0.23	0.20
ヘルパンギーナ	0.16	0.11	0.06	0.02	0.07	0.07	0.12	0.12	0.11	0.09
流行性耳下腺炎	0.01	0.03	0.06	0.06	0.03	0.02	0.03	0.04	0.03	0.02
インフルエンザ	20.38	22.64	23.30	18.12	21.98	30.96	21.13	17.35	21.66	28.30
新型コロナウイルス感染症	3.44	2.73	2.14	1.60	1.60	2.06	2.44	2.01	1.95	2.33
急性出血性結膜炎							0.01	0.01	0.02	0.02
流行性角結膜炎	0.27	0.50	0.59	1.14	0.45	0.73	0.81	0.92	0.96	0.95
細菌性髄膜炎					0.10		0.02	0.02	0.02	0.01
無菌性髄膜炎		0.10	0.10				0.02	0.02	0.03	0.03
マイコプラズマ肺炎	0.10		0.10	0.10			0.06	0.07	0.05	0.07
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0.00	0.00	0.00	
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								0.00	0.00	

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

感染症 47 週

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	3	0.03	151	1.70	288	3.24	364	4.09	7	0.08
賀茂							5	2.50		
熱海			2	0.50	4	1.00	3	0.75		
東部			34	2.62	45	3.46	68	5.23	2	0.15
御殿場			10	2.50	59	14.75	33	8.25		
富士			1	0.11	22	2.44	19	2.11	1	0.11
静岡市			32	2.00	24	1.50	42	2.63	2	0.13
中部			17	1.55	36	3.27	27	2.45	2	0.18
西部	3	0.25	28	2.33	14	1.17	64	5.33		
浜松市			27	1.50	84	4.67	103	5.72		

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	30	0.34	1	0.01	15	0.17	6	0.07	2	0.02
賀茂										
熱海	1	0.25							1	0.25
東部	18	1.38			1	0.08	4	0.31	1	0.08
御殿場					1	0.25				
富士	5	0.56			3	0.33	1	0.11		
静岡市					1	0.06				
中部	1	0.09			1	0.09				
西部	1	0.08	1	0.08	3	0.25	1	0.08		
浜松市	4	0.22			5	0.28				

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症		麻しん (全数報告)		風しん (全数報告)		指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	週計	累計	小児科	内科
総数	4303	30.96	287	2.06	0	2	0	0	89	50
賀茂	10	3.33	8	2.67					2	1
熱海	72	12.00	15	2.50					4	2
東部	776	38.80	16	0.80					13	7
御殿場	806	134.33	49	8.17					4	2
富士	533	35.53	59	3.93					9	6
静岡市	596	23.84	22	0.88					16	9
中部	288	16.94	43	2.53					11	6
西部	474	24.95	34	1.79		1			12	7
浜松市	748	26.71	41	1.46		1			18	10

*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

感染症 47 週

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		16	0.73	0		0		0	
賀茂										
熱海										
東部			2	0.50						
御殿場										
富士			3	1.00						
静岡市			4	0.80						
中部			3	1.00						
西部			2	0.50						
浜松市			2	0.67						

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

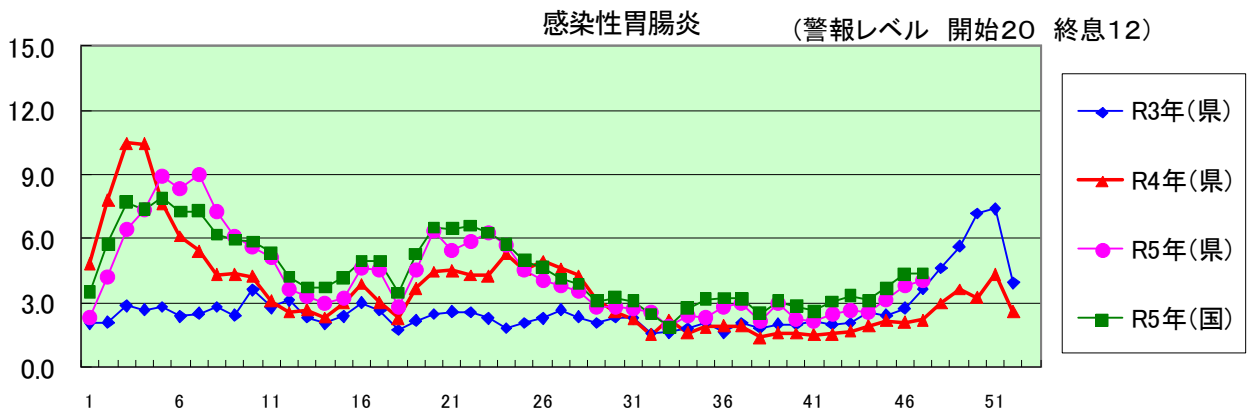
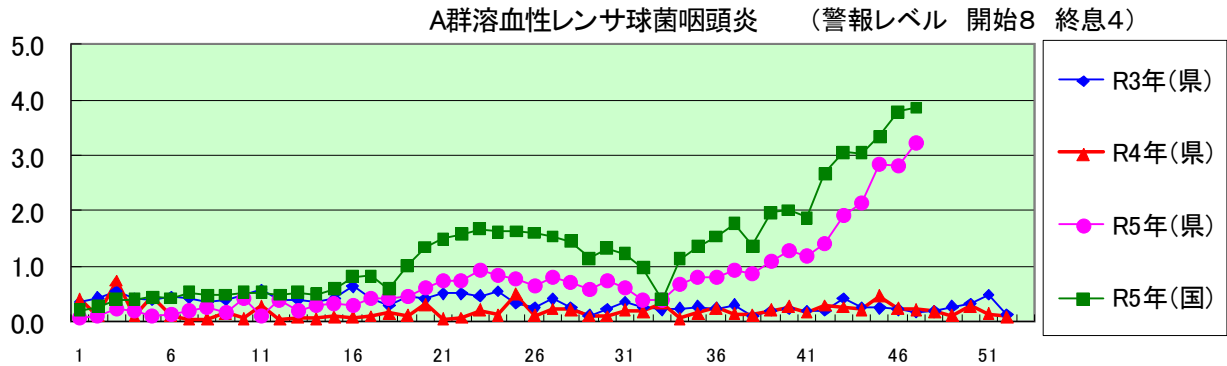
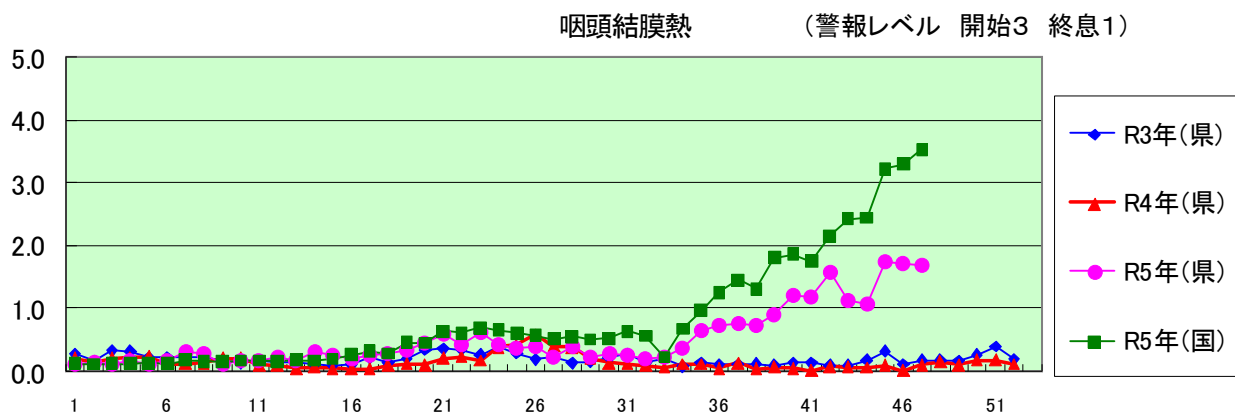
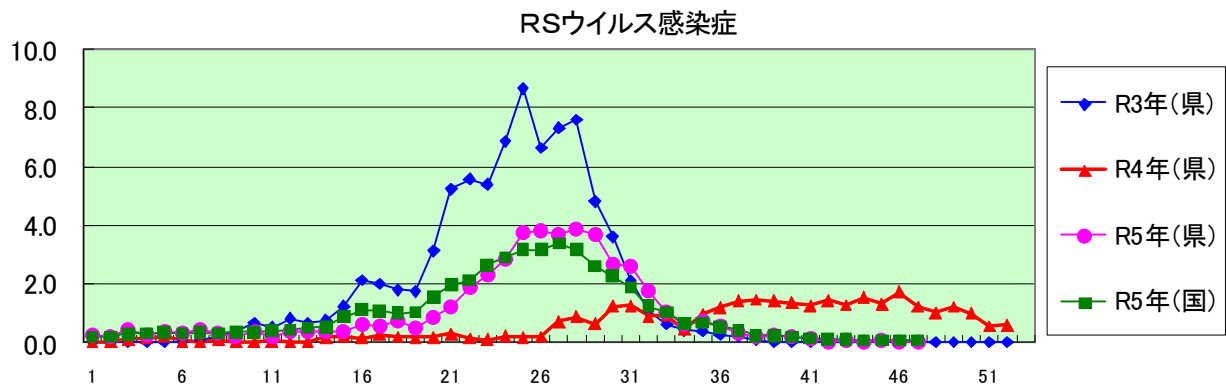
2023年 47 週

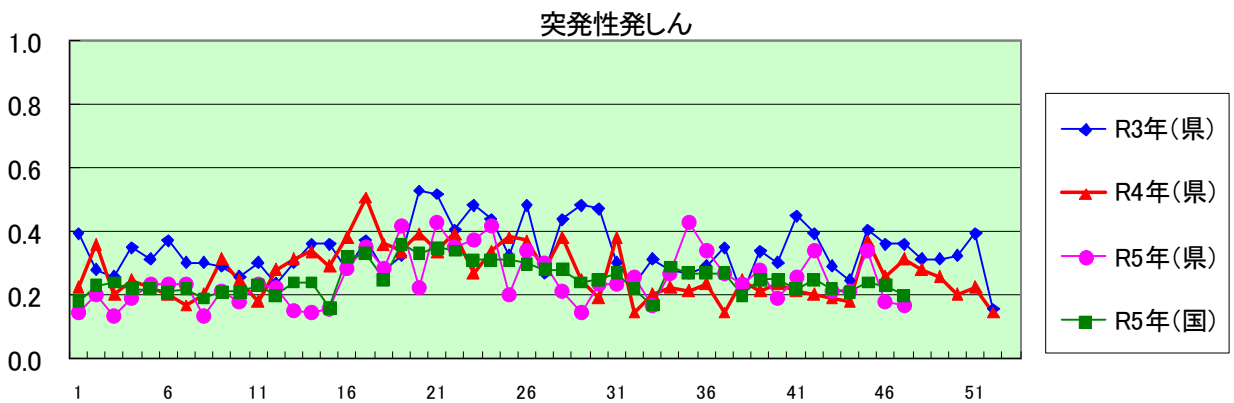
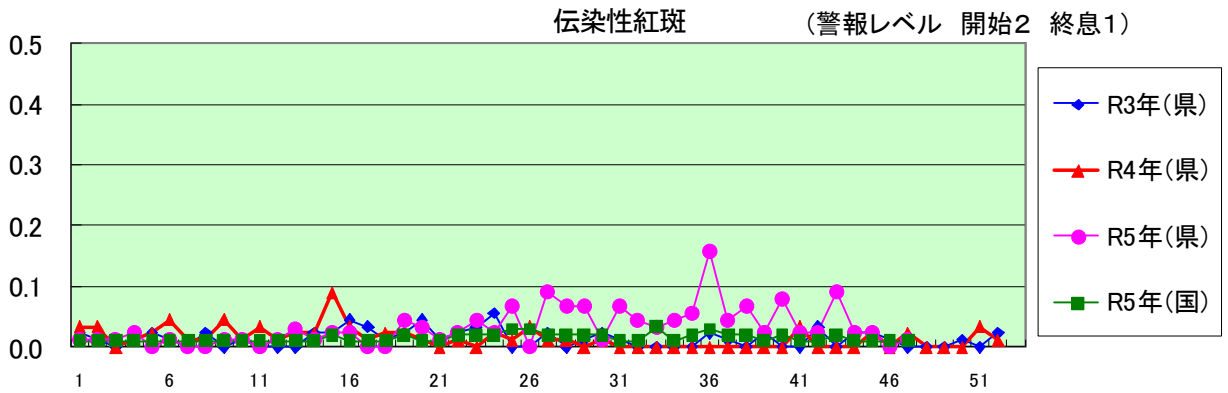
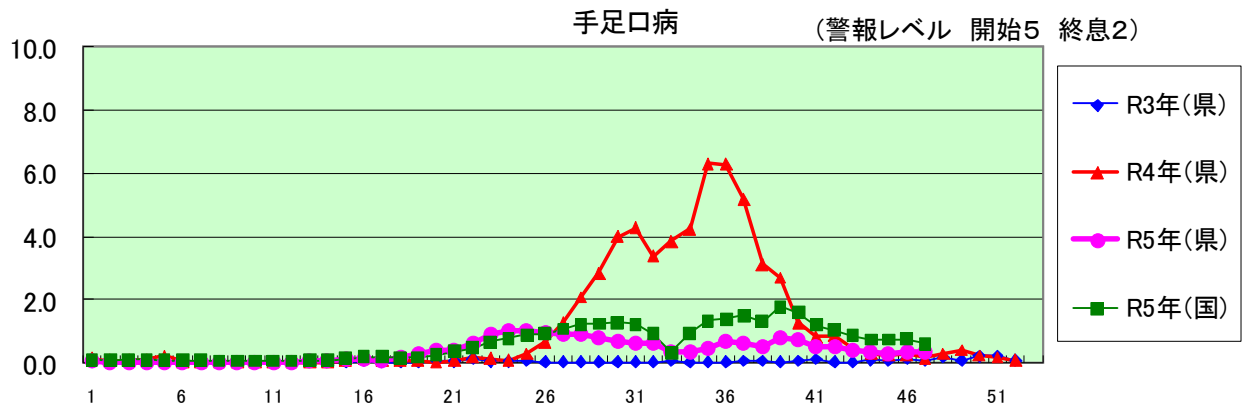
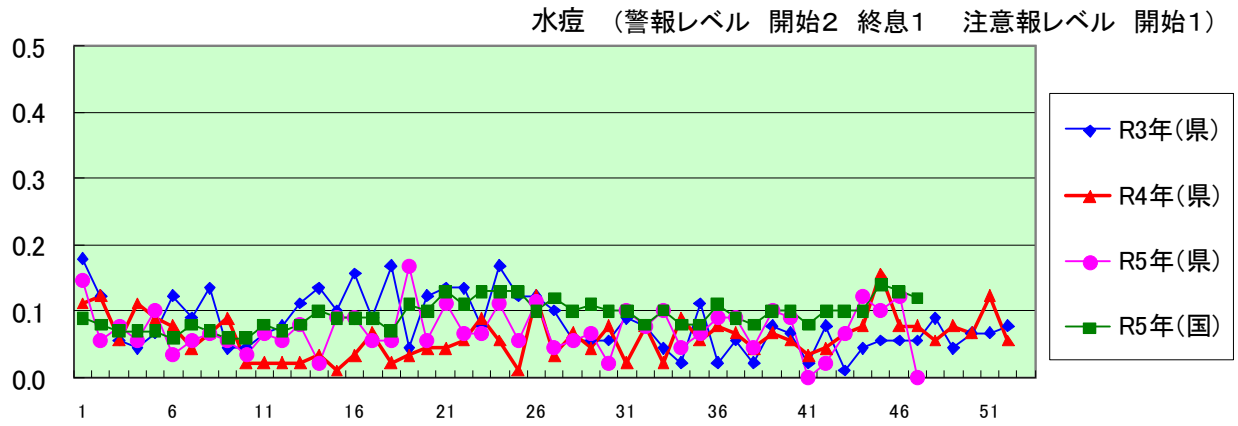
年齢階級区分	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
# (小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
# (眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
# (基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	2				1																3
咽頭結膜炎		2	23	20	30	24	26	14	4	3	2	1									151
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			5	16	28	29	41	34	33	34	26	30	3	9							288
感染性胃腸炎	1	18	48	38	42	44	39	28	23	15	16	36	2	14							364
水痘			1			2				1		2	1								7
手足口病	1	1	13	2	3	7	1	1	1												30
伝染性紅斑												1									1
突発性発しん			5	7	1	2															15
ヘルパンギーナ			2	3		1															6
流行性耳下腺炎						1				1											2
インフルエンザ	11	23	91	126	161	205	241	315	343	346	306	1,054	287	118	233	216	94	56	44	33	4,303
新型コロナウイルス感染症	4	3	7	3	6	6	10	4	6	3	7	39	6	28	25	27	31	22	21	29	287
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎				1	1		1		1			1			4	3		3	1		16
細菌性髄膜炎																					
無菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎																					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					

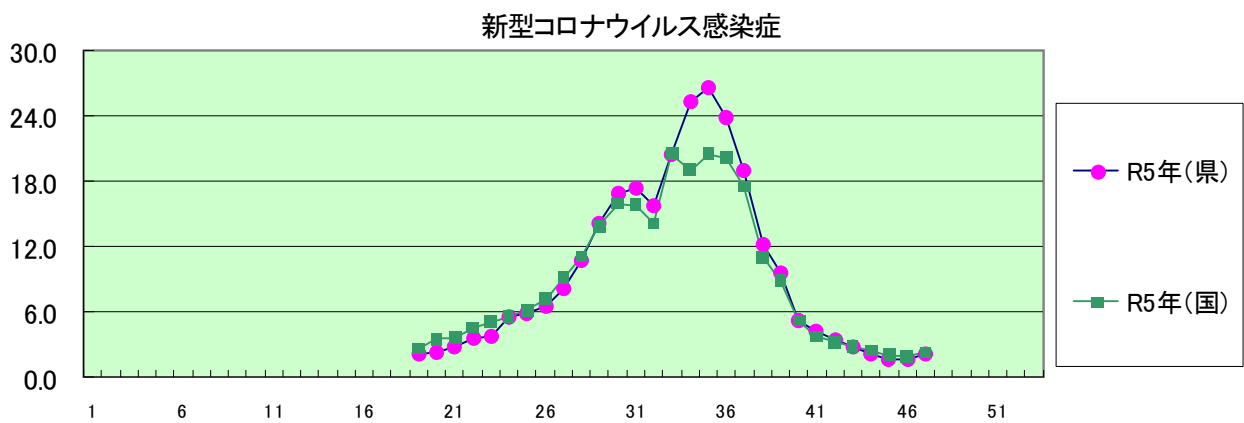
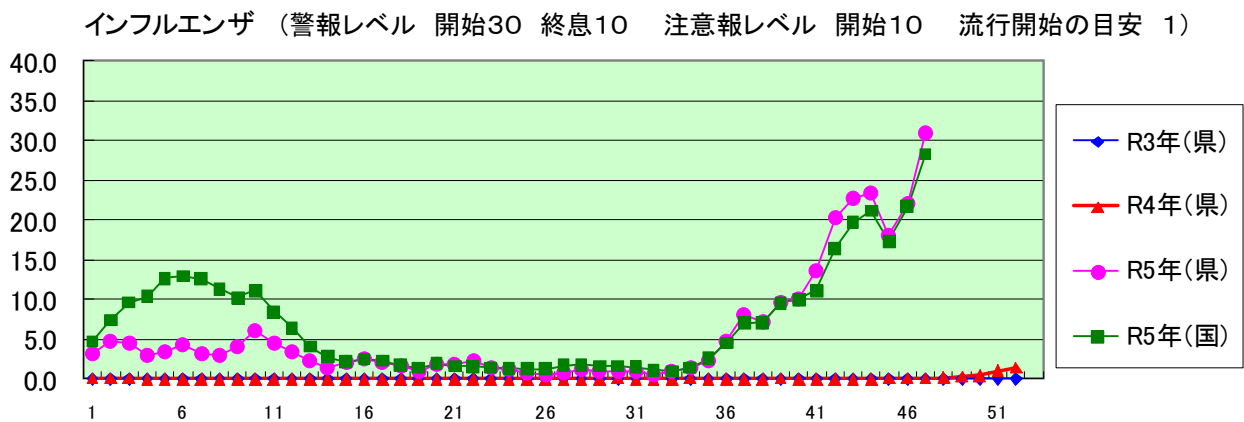
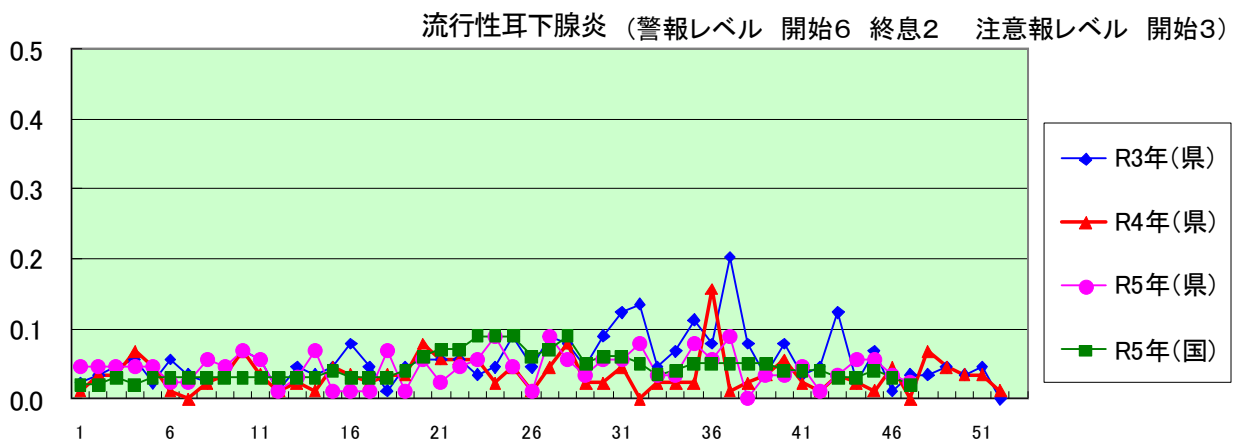
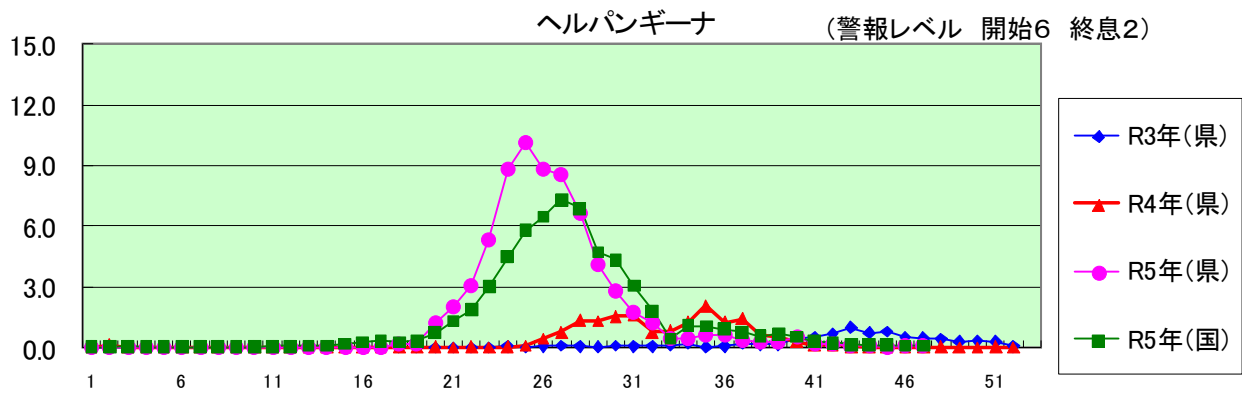
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

2023年 47 週

年齢階級区分	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
# (小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
# (眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
# (基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	0.02				0.01																0.03
咽頭結膜炎		0.02	0.26	0.22	0.34	0.27	0.29	0.16	0.04	0.03	0.02	0.01		0.02							1.70
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.06	0.18	0.31	0.33	0.46	0.38	0.37	0.38	0.29	0.34	0.03	0.10							3.24
感染性胃腸炎	0.01	0.20	0.54	0.43	0.47	0.49	0.44	0.31	0.26	0.17	0.18	0.40	0.02	0.16							4.09
水痘			0.01			0.02				0.01		0.02	0.01								0.08
手足口病	0.01	0.01	0.15	0.02	0.03	0.08	0.01	0.01	0.01												0.34
伝染性紅斑												0.01									0.01
突発性発しん			0.06	0.08	0.01	0.02															0.17
ヘルパンギーナ			0.02	0.03		0.01															0.07
流行性耳下腺炎						0.01				0.01											0.02
インフルエンザ	0.08	0.17	0.65	0.91	1.16	1.47	1.73	2.27	2.47	2.49	2.20	7.58	2.06	0.85	1.68	1.55	0.68	0.40	0.32	0.24	30.96
新型コロナウイルス感染症	0.03	0.02	0.05	0.02	0.04	0.04	0.07	0.03	0.04	0.02	0.05	0.28	0.04	0.20	0.18	0.19	0.22	0.16	0.15	0.21	2.06
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎				0.05	0.05		0.05		0.05			0.05			0.18	0.14		0.14	0.05		0.73
細菌性髄膜炎																					
無菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎																					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					

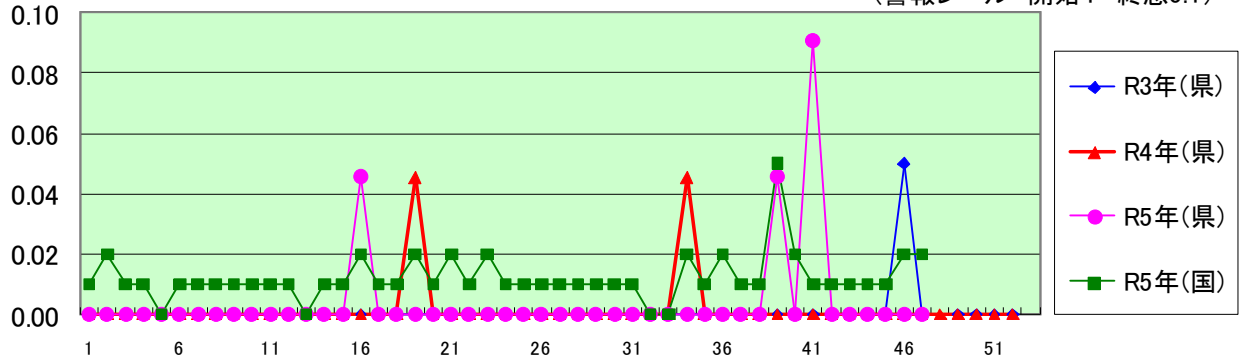






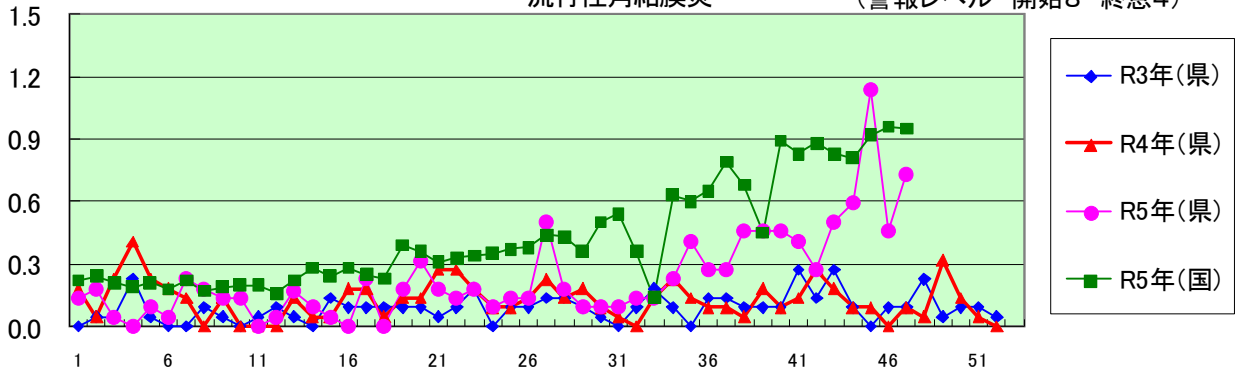
急性出血性結膜炎

(警報レベル 開始1 終息0.1)

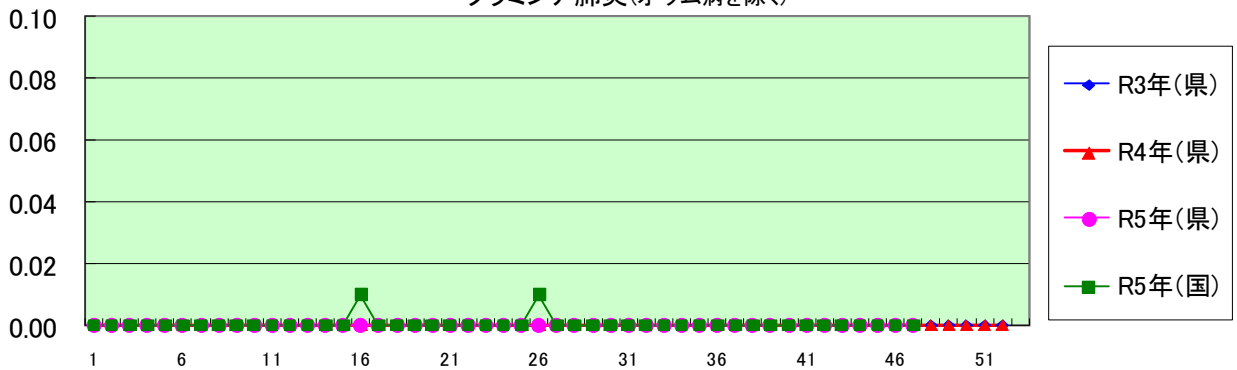


流行性角結膜炎

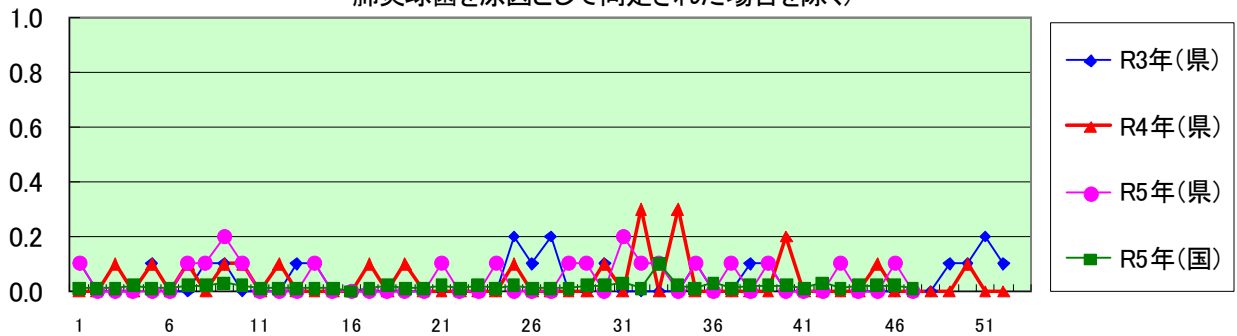
(警報レベル 開始8 終息4)



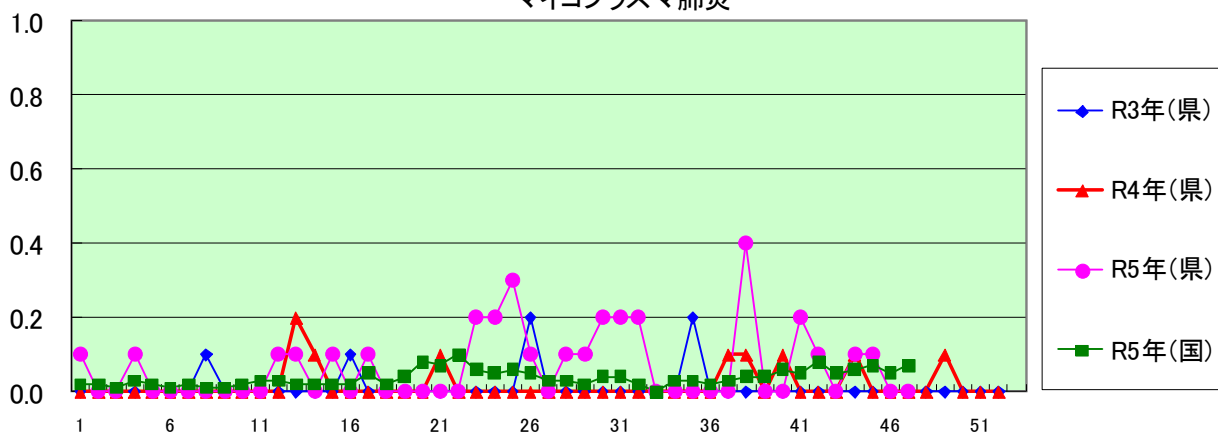
クラミジア肺炎(オウム病を除く)



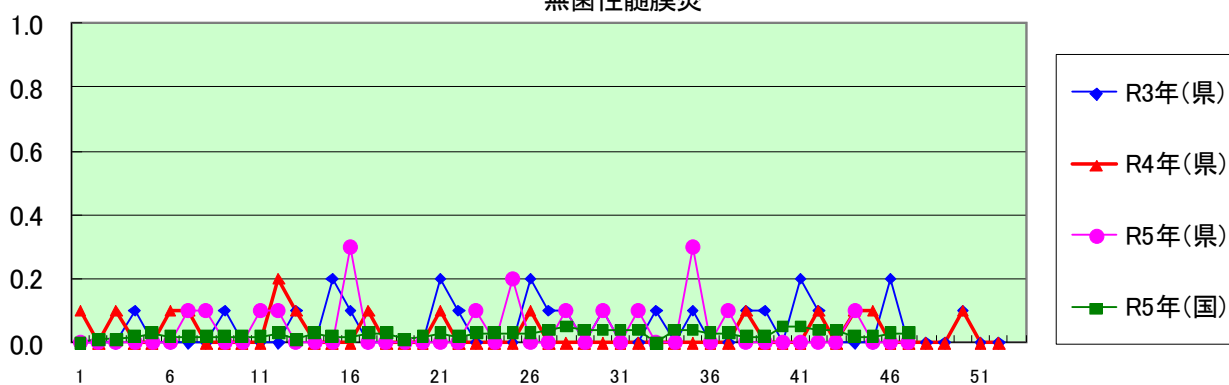
細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)



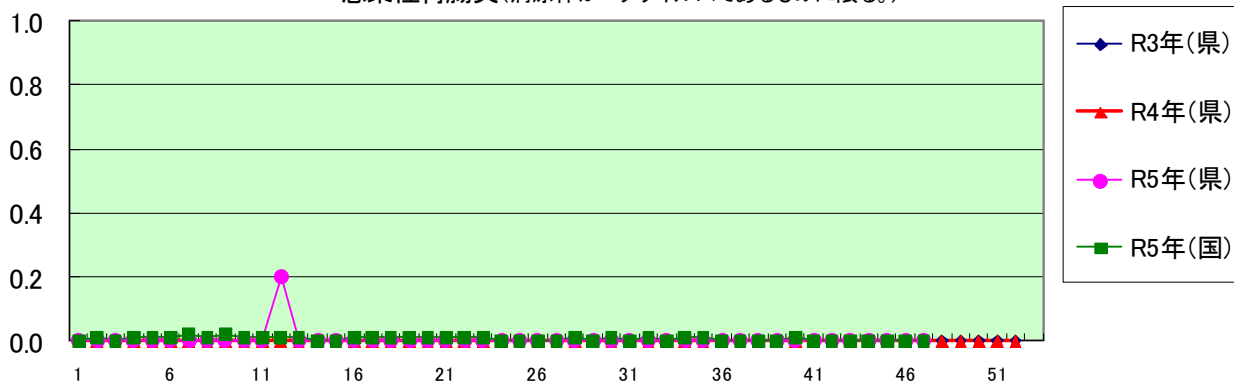
マイコプラズマ肺炎



無菌性髄膜炎



感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2023年 10 月

	静岡県							全国				
	5月	6月	7月	8月	9月	今月	計	7月	8月	9月	今月	計
性器クラミジア感染症	44	65	43	63	72	66	353	2,623	2,632	2,718	2,633	10,606
性器ヘルペスウイルス感染症	15	21	12	16	18	14	96	782	821	791	852	3,246
尖圭コンジローマ	12	6	18	17	15	11	79	581	529	482	559	2,151
淋菌感染症	13	25	16	16	20	15	105	789	827	810	815	3,241
性器クラミジア感染症(男)	13	25	12	30	23	22	125	1,339	1,375	1,385	1,325	5,424
性器クラミジア感染症(女)	31	40	31	33	49	44	228	1,284	1,257	1,333	1,308	5,182
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	5	9	7	4	4	7	36	289	300	284	323	1,196
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	10	12	5	12	14	7	60	493	521	507	529	2,050
尖圭コンジローマ(男)	3	1	5	7	10	6	32	378	352	308	364	1,402
尖圭コンジローマ(女)	9	5	13	10	5	5	47	203	177	174	195	749
淋菌感染症(男)	10	15	7	12	12	6	62	593	648	613	615	2,469
淋菌感染症(女)	3	10	9	4	8	9	43	196	179	197	200	772
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	25	23	33	25	21	21	148	1,246	1,328	1,290	1,356	5,220
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								107	99	80	71	357
薬剤耐性緑膿菌感染症								11	8	8	6	33

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2023年 10 月

	静岡県						全国			
	5月	6月	7月	8月	9月	今月	7月	8月	9月	今月
性器クラミジア感染症	1.47	2.17	1.43	2.10	2.40	2.20	2.66	2.68	2.78	2.69
性器ヘルペスウイルス感染症	0.50	0.70	0.40	0.53	0.60	0.47	0.79	0.84	0.81	0.87
尖圭コンジローマ	0.40	0.20	0.60	0.57	0.50	0.37	0.59	0.54	0.49	0.57
淋菌感染症	0.43	0.83	0.53	0.53	0.67	0.50	0.80	0.84	0.83	0.83
性器クラミジア感染症(男)	0.43	0.83	0.40	1.00	0.77	0.73	1.36	1.40	1.42	1.35
性器クラミジア感染症(女)	1.03	1.33	1.03	1.10	1.63	1.47	1.30	1.28	1.37	1.34
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.17	0.30	0.23	0.13	0.13	0.23	0.29	0.31	0.29	0.33
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.33	0.40	0.17	0.40	0.47	0.23	0.50	0.53	0.52	0.54
尖圭コンジローマ(男)	0.10	0.03	0.17	0.23	0.33	0.20	0.38	0.36	0.32	0.37
尖圭コンジローマ(女)	0.30	0.17	0.43	0.33	0.17	0.17	0.21	0.18	0.18	0.20
淋菌感染症(男)	0.33	0.50	0.23	0.37	0.40	0.20	0.60	0.66	0.63	0.63
淋菌感染症(女)	0.10	0.33	0.30	0.13	0.27	0.30	0.20	0.18	0.20	0.20
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.50	2.30	3.30	2.50	2.10	2.10	2.61	2.79	2.69	2.83
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							0.22	0.21	0.17	0.15
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.02	0.02	0.02	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2023年 10 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	66	2.20	14	0.47	11	0.37	15	0.50
賀茂								
熱海	6	6.00					2	2.00
東部	1	0.20	2	0.40	1	0.20	1	0.20
御殿場	3	3.00						
富士	7	2.33	4	1.33			1	0.33
静岡市	19	3.17	4	0.67	4	0.67	7	1.17
中部	7	1.75	2	0.50	2	0.50	3	0.75
西部	20	4.00			1	0.20	1	0.20
浜松市	3	0.60	2	0.40	3	0.60		

保健所名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	21	2.10	0		0	
賀茂	3	3.00				
熱海	4	4.00				
東部						
御殿場						
富士	1	1.00				
静岡市	9	4.50				
中部						
西部	1	1.00				
浜松市	3	1.50				

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

2023年 10 月

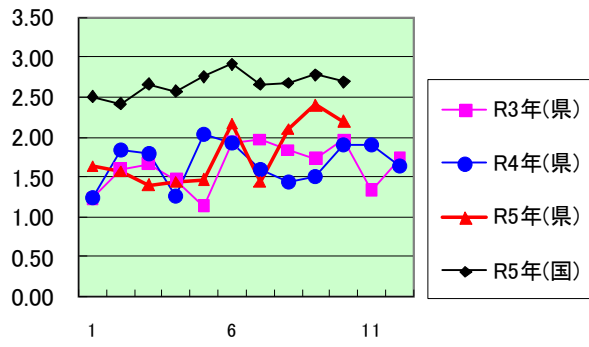
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					9	26	9	9	4	3	2	2	2				66
性器ヘルペスウイルス感染症						1	3			2	1	2		4		1	14
尖圭コンジローマ					2	5	1	1		1		1					11
淋菌感染症					1	4	2	2	1		3	1		1			15
性器クラミジア感染症(男)					4	7	1	3	2	1		2	2				22
性器クラミジア感染症(女)					5	19	8	6	2	2	2						44
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							3			1		2		1			7
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						1				1	1			3		1	7
尖圭コンジローマ(男)						3	1			1			1				6
尖圭コンジローマ(女)					2	2		1									5
淋菌感染症(男)					1	1			1		2			1			6
淋菌感染症(女)						3	2	2			1	1					9
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症												2		1		18	21
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

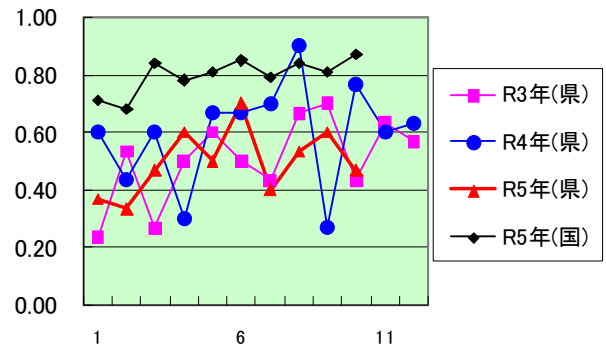
2023年 10 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					0.30	0.87	0.30	0.30	0.13	0.10	0.07	0.07	0.07				2.20
性器ヘルペスウイルス感染症						0.03	0.10			0.07	0.03	0.07		0.13		0.03	0.47
尖圭コンジローマ					0.07	0.17	0.03	0.03		0.03		0.03					0.37
淋菌感染症					0.03	0.13	0.07	0.07	0.03		0.10	0.03		0.03			0.50
性器クラミジア感染症(男)					0.13	0.23	0.03	0.10	0.07	0.03		0.07	0.07				0.73
性器クラミジア感染症(女)					0.17	0.63	0.27	0.20	0.07	0.07	0.07						1.47
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							0.10			0.03		0.07		0.03			0.23
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						0.03				0.03	0.03			0.10		0.03	0.23
尖圭コンジローマ(男)						0.10	0.03			0.03		0.03					0.20
尖圭コンジローマ(女)					0.07	0.07		0.03									0.17
淋菌感染症(男)					0.03	0.03			0.03		0.07			0.03			0.20
淋菌感染症(女)						0.10	0.07	0.07			0.03	0.03					0.30
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症												0.20		0.10		1.80	2.10
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

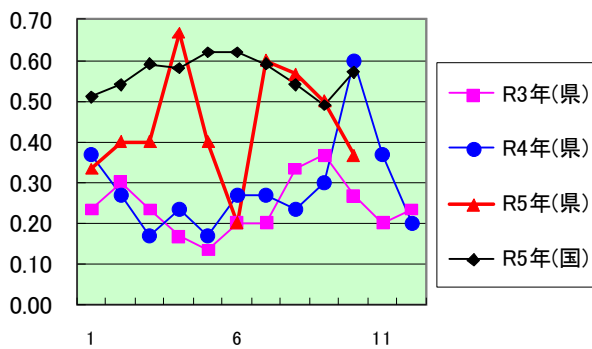
性器クラミジア感染症



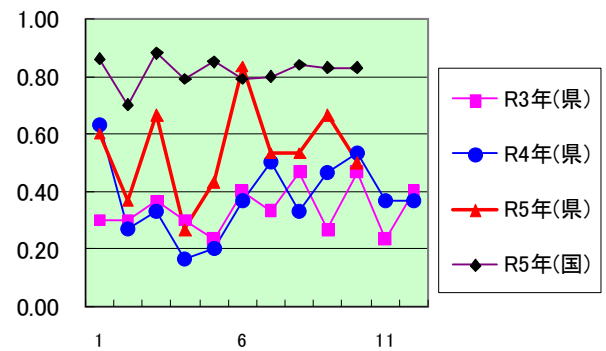
性器ヘルペスウイルス感染症



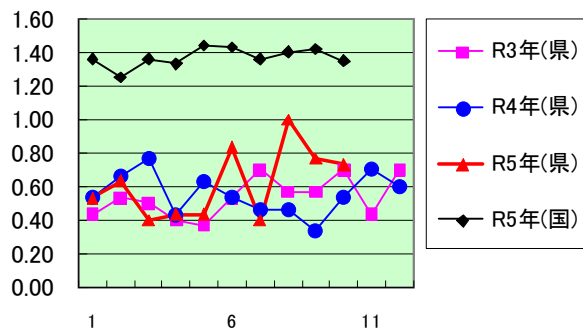
尖圭コンジローマ



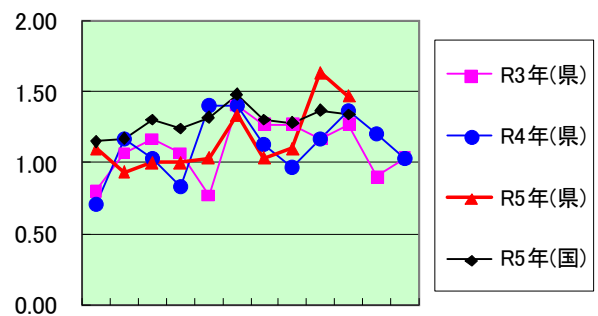
淋菌感染症



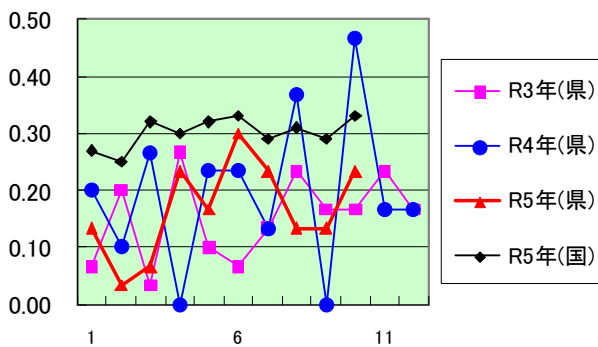
性器クラミジア感染症(男)



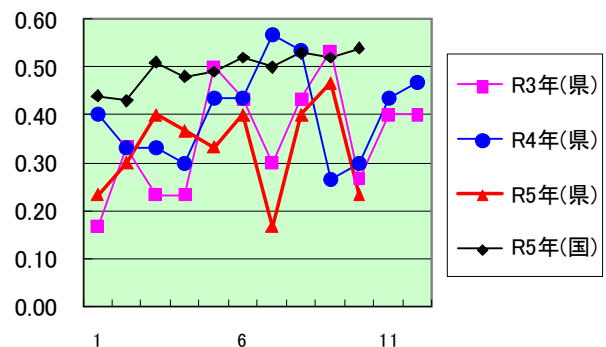
性器クラミジア感染症(女)



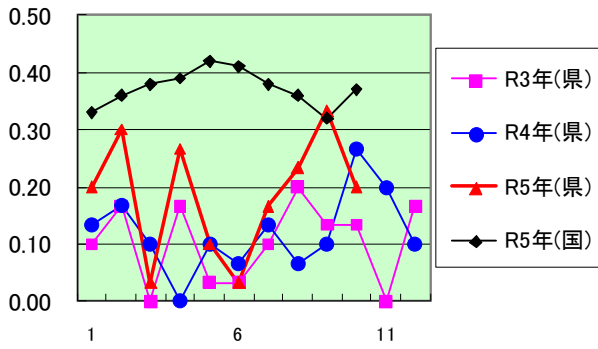
性器ヘルペスウイルス感染症(男)



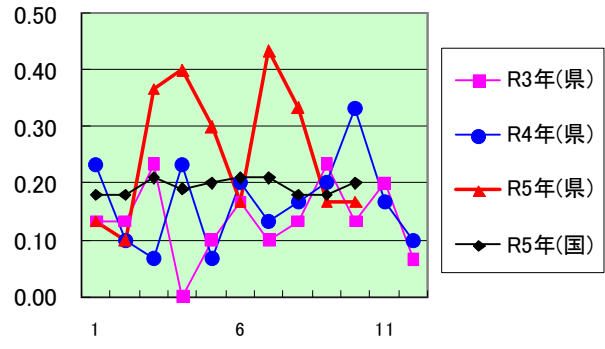
性器ヘルペスウイルス感染症(女)



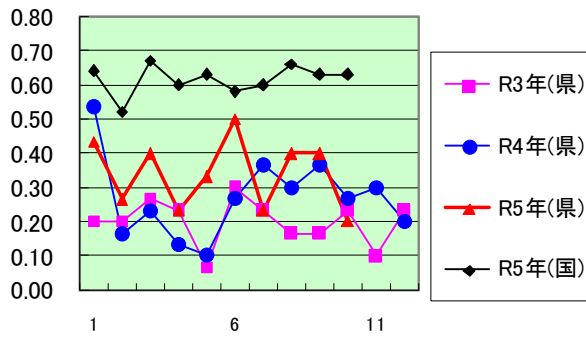
尖圭コンジローマ(男)



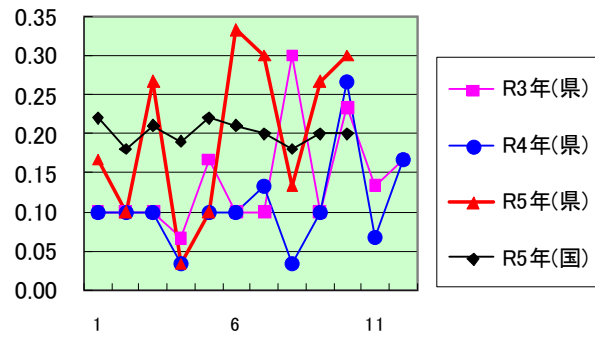
尖圭コンジローマ(女)



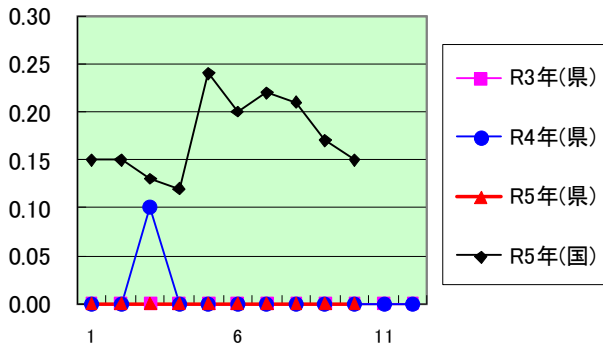
淋菌感染症(男)



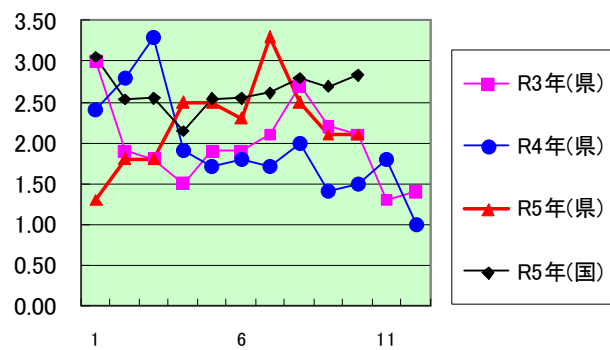
淋菌感染症(女)



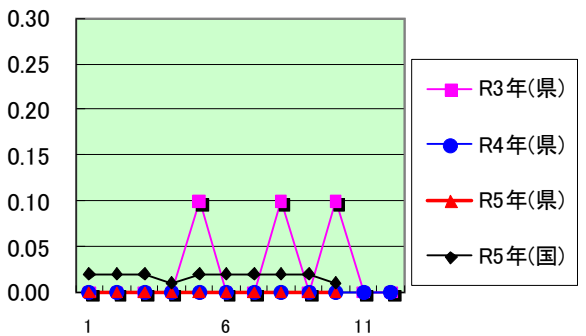
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

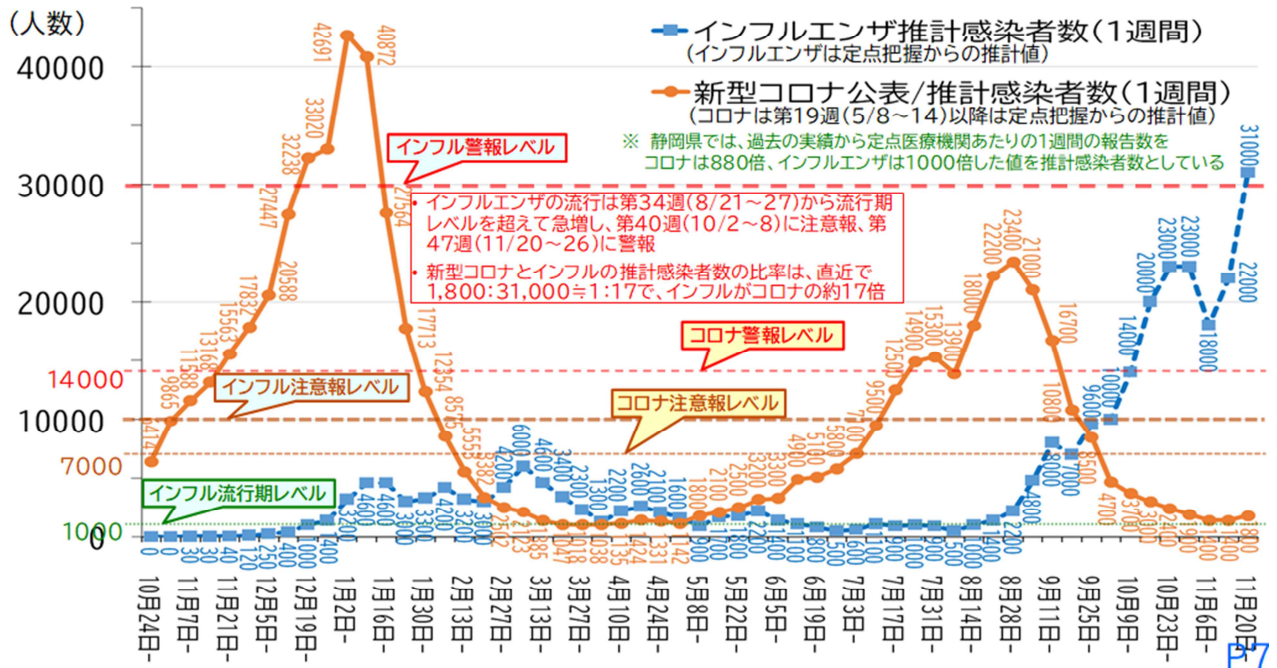


薬剤耐性緑膿菌感染症

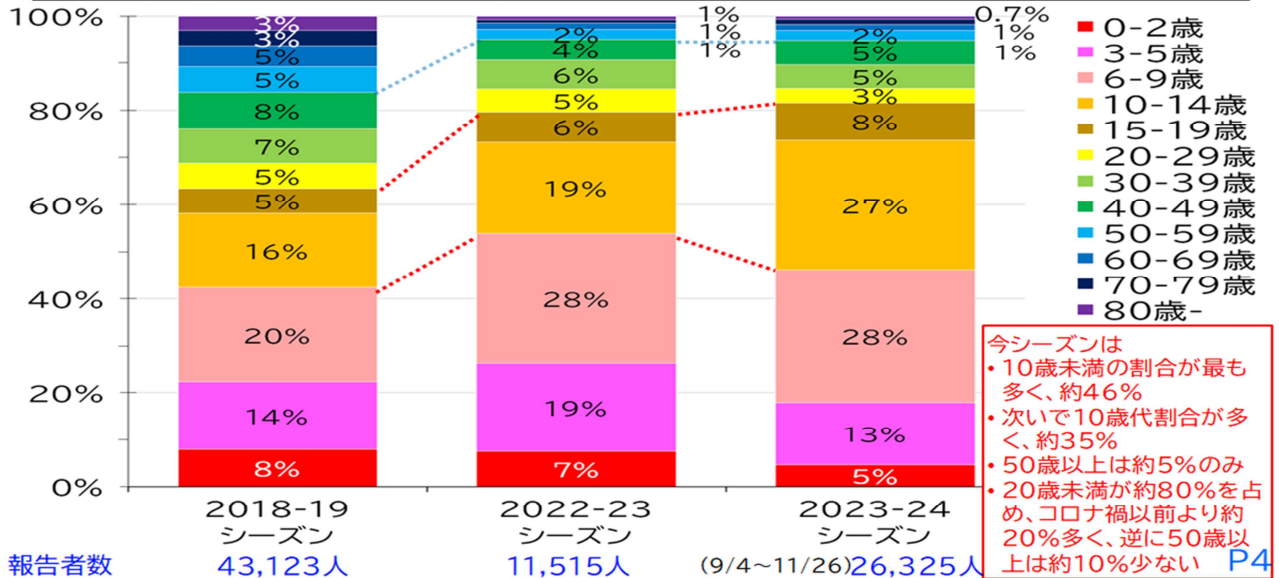


定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

静岡県 新型コロナとインフルエンザの流行の状況 (2022.10/24~2023.11/26)



静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 年齢別割合(今季、昨季とコロナ禍前2018-19季の比較)



インフルエンザワクチン接種

- ・対象者は生後6か月以上です
- ・現在流行のA型2種の他にB型2種の計4種のインフルに対応
- ・インフルエンザによる重症化や入院リスクを下げるため、早めの接種の検討を！

提供日 2023/11/30
タイトル インフルエンザの流行が警報レベルとなりました！
担当 健康福祉部 感染症対策局感染症対策課
連絡先 ふじのくに感染症管理センター
TEL 055-928-7272



－危機管理情報－

～インフルエンザが警報レベルとなりました！～

2023年第47週（11/20～11/26）の感染症発生動向調査で、静岡県内のインフルエンザの定点当たり患者報告数が30.96人に増加し、警報レベルの基準値（定点当たりの患者報告数30人）を超えました。今後、さらに流行が拡大するとともに長期間持続することも考えられますので、県民の皆様には、咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に努めていただくとともに、ワクチン接種を検討していただくようお願いします。

23.30 ⇒ 18.12 ⇒ 21.98 ⇒ 30.96
(10/30～11/5) (11/6～11/12) (11/13～11/19) (11/20～11/26)

<参考>

- ・インフルエンザの定点当たりの報告数とは、県内の小児科、内科併せて139の定点医療機関の1医療機関当たりの1週間の患者数です。
- ・流行開始の目安とされている報告数は1、注意報レベルは10、警報レベルの開始は30、警報レベルの終息は10です。
- ・県内のインフルエンザ流行状況が警報レベルとなったのは、5シーズンぶりです。（前回：2019年第2週（1/7～1/13）に警報入りし、2019年第6週（2/4～2/10）まで10以上）
- ・インフルエンザの発生動向調査は、第36週（9/4～9/10）から新シーズンとして集計しており、第47週での警報入りは、記録が残る2002年以降、最も早い時期での警報入りと並ぶ記録です。（これまでの最も早い警報入りは、2009年第47週（11月16日～22日）で、例年は、1月中旬から2月上旬頃に警報入りすることが多いです。）
- ・インフルエンザが原因と考えられる学級閉鎖の数は、記録が残る2012-2013シーズン以降のシーズン合計で、すでに閉鎖学級数、閉鎖学級の在籍者数、患者数、欠席者数が過去最高となっています。

<インフルエンザ拡大防止のために県民の皆様へ>

ワクチンの接種について

- ・ インフルエンザによって高齢者や基礎疾患のある方は、重症化することがあり、乳幼児ではまれにインフルエンザ脳症を起こすことがあります。ワクチン接種により、死亡や入院の危険が減少するとされています。
- ・ 今シーズンのインフルエンザワクチンの供給量は、昨シーズンの使用量を超える供給量となります。
- ・ **65歳以上等の定期接種対象者で接種を希望する方は、お早めの接種をお願いします。**
- ・ **定期接種対象者以外でも、特に、基礎疾患のある方や、乳幼児、以前インフルエンザにかかってつらかった方は接種の御検討をお願いします。**

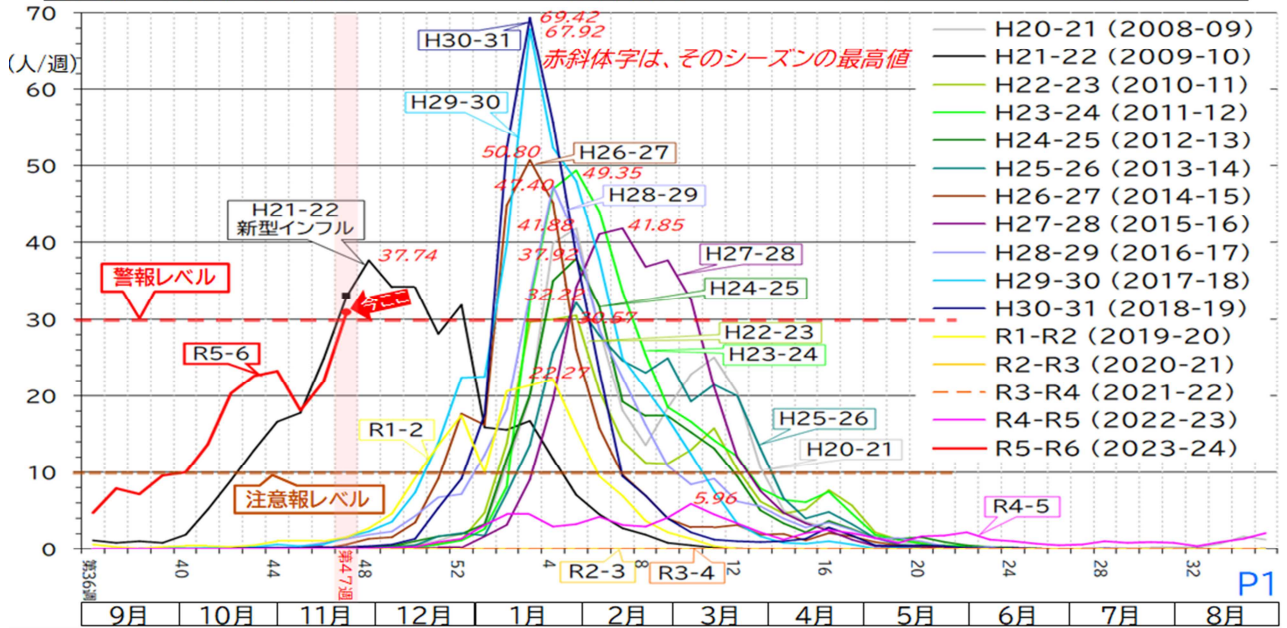
(インフルエンザワクチンの接種によって、インフルエンザの重症化を予防する効果や発症をある程度抑える効果が期待できる一方、接種時の体調によっては副反応などが生じる場合もありますので、かかりつけ医などと相談しつつ、接種を検討いただくようお願いいたします。)

- ・ なお、インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは同時に接種できます。

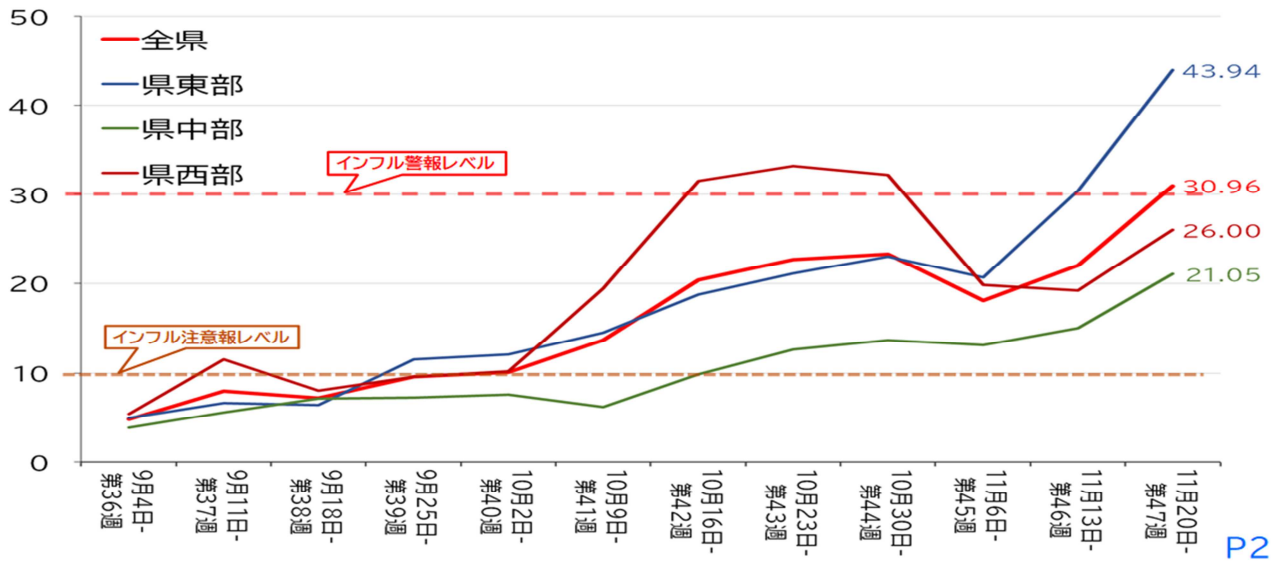
「うつらない」・「うつさない」ための取組の徹底

- ・ 体調が悪い場合は、人が集まるイベントに参加することは控えましょう。
- ・ 人混みでは、**咳エチケット**（咳やくしゃみが出るときは、マスクを着用するか、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い顔を他の人に向けない）を励行しましょう
- ・ インフルエンザと診断されたら医師の指示を守って服薬し、外出を控えるとともに、家庭内でも咳エチケットを徹底し、十分な休養をとりましょう
- ・ 人が集まる室内では、十分に換気をしましょう
- ・ こまめに手洗いをしましょう
- ・ なるべく密を避けましょう
- ・ 十分な栄養と睡眠をとり、健康管理につとめましょう

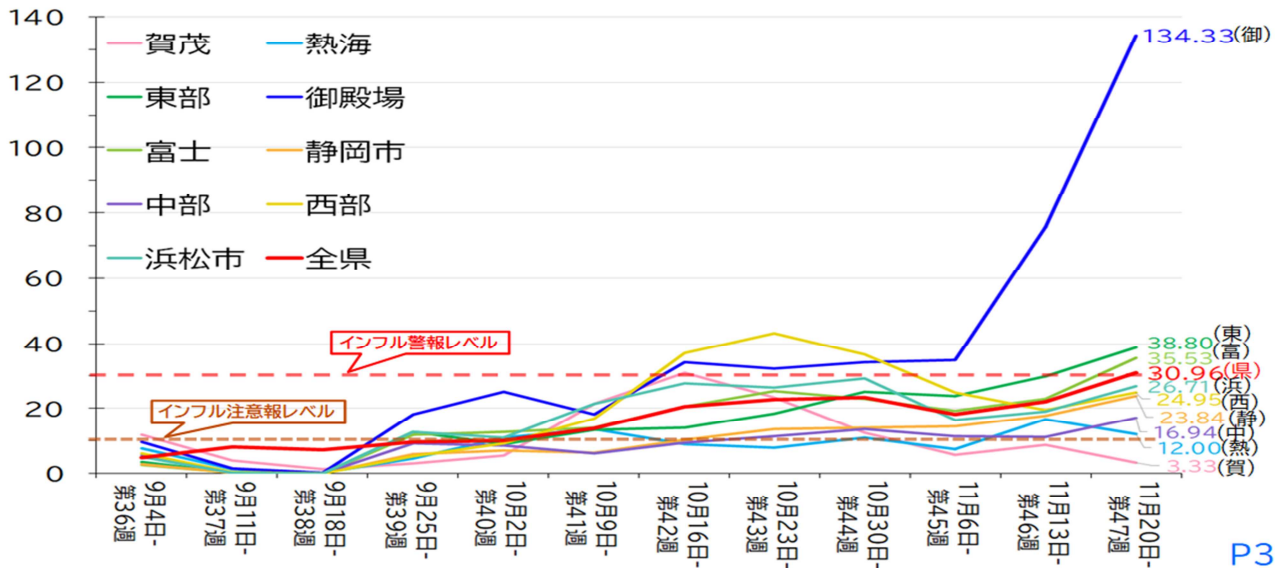
静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 2008-09年～2023-24年シーズン



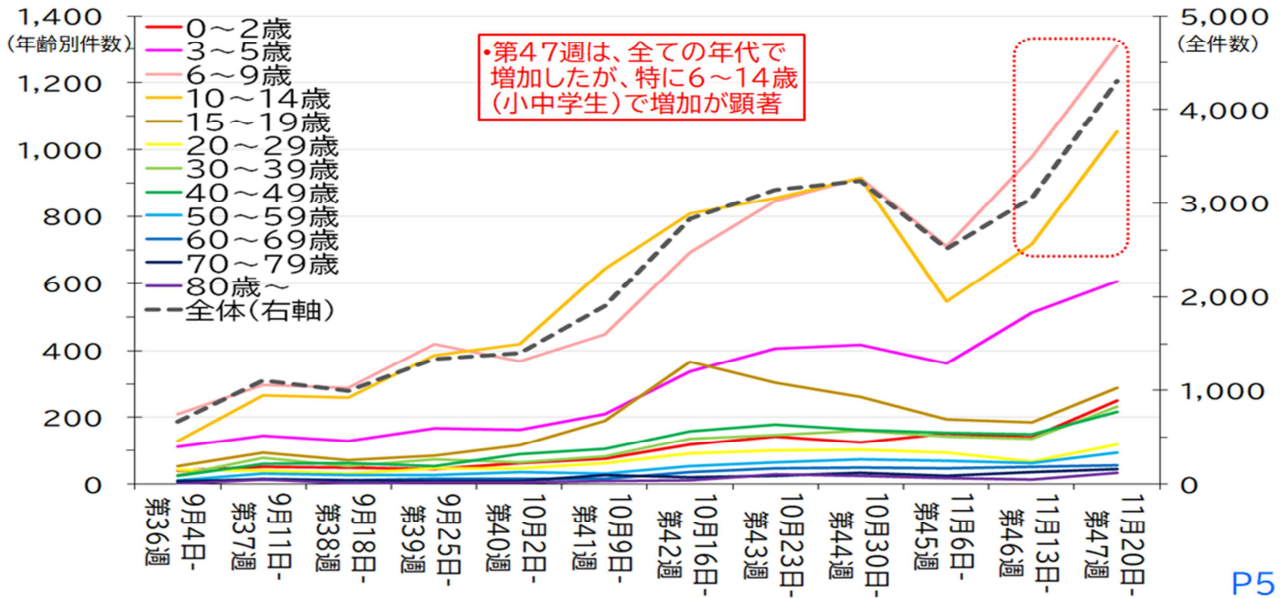
静岡県 東中西部地域別 定点医療機関あたりインフルエンザ患者数 今季(11/26まで)



静岡県 保健所管内別 定点医療機関あたりインフルエンザ患者数 今季(11/26まで)

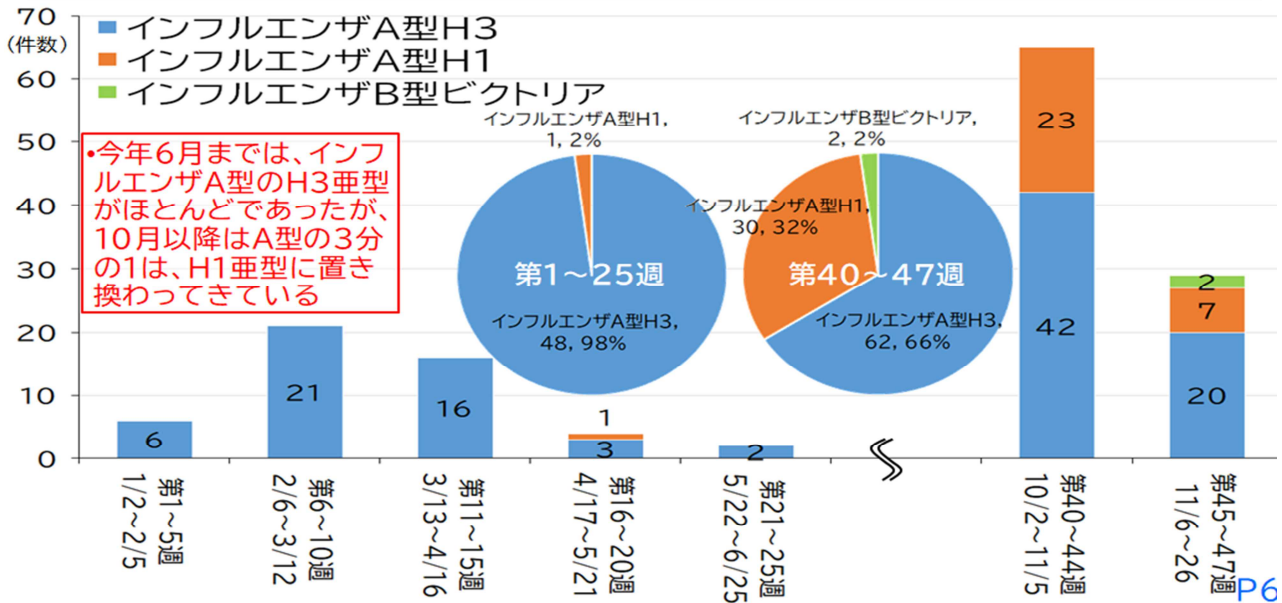


静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 年齢別報告数 今季(11/26まで)



P5

静岡県内衛生研究所(県、静岡市、浜松市) インフルエンザウイルス型別検出状況 今季(11/26まで)



P6

(シーズンごと) インフルエンザによる学級閉鎖状況まとめ

区分	学級数	閉鎖学級の在籍者数	患者数	欠席者数	初発年月日
2023-2024 (R5-R6)	2,685※	78,097※	24,997※	23,105※	9月4日
2023-2024(R5-R6)は2023.9/4～11/29の数値					
2022-2023 (R4-R5)	387	11,088	3,627	3,408	11月29日
2021-2022 (R3-R4)	報告なし				
2020-2021 (R2-R3)	報告なし				

2019-2020 (R1-R2)	1,118	31,047	10,015	9,129	9月2日
2018-2019 (H30-R1)	1,944	53,162	16,970	15,428	10月16日
2017-2018 (H29-H30)	2,598	71,307	22,729	20,403	9月25日
2016-2017 (H28-H29)	2,005	56,824	17,963	15,834	10月18日

※記録が残る2012-2013シーズン以降、最多となる項目

新型コロナウイルス感染症について

令和5年第47週（令和5年11月20日～11月26日）

★令和5年第47週の感染状況について

・県全体の定点医療機関当たり患者数は2.06人/週で、前週(1.60人/週)に比べて増加しています。

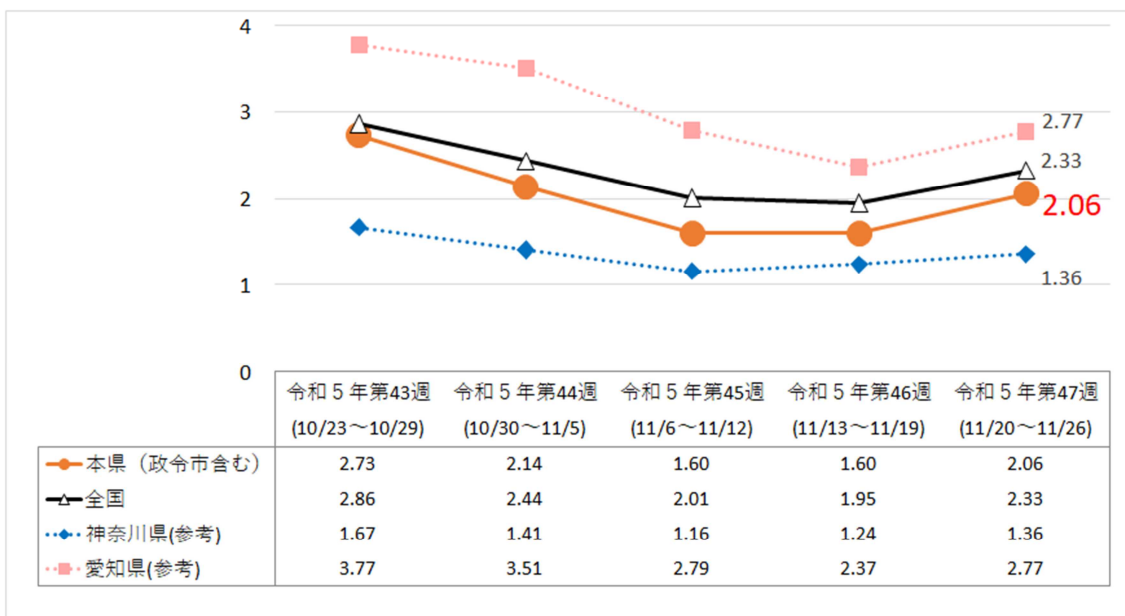
※前週に比べて患者数が増加したのは、令和5年第35週(8/28～9/3)以来です。

・この1週間の定点医療機関から報告された患者数は287人で、前週(222人)に比べて1.29倍です。

・この1週間の全感染者数は、約1,800人(1日平均約300人)と推計されます。

・感染拡大注意報レベル以上の地域、保健所はありません。

1 定点医療機関当たり患者数（単位：人/週）



全国及び隣接する神奈川県、愛知県も表示します。

2 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜令和5年第47週＞

保健所ごとに定点医療機関1か所当たりの人口や年齢構成などが異なるため、保健所間で数値の単純比較はできません。

保健所名	各保健所の 管轄市町名	定点医療 機関数 (A)	定点医療機関 の患者数 (B)	定点医療機関 当たりの患者数 (B/A)	県独自の 注意報 レベル※	県独自の 警報 レベル※
県東部地域	賀茂	3	8	2.67	13以上	26以上
	熱海	6	15	2.50	9以上	18以上
	東部	20	16	0.80	8以上	16以上
	御殿場	6	49	8.17	17以上	34以上
	富士	15	59	3.93	11以上	22以上
県東部地域		50	147	2.94	10以上	20以上
県中部地域	静岡市	25	22	0.88	6以上	12以上
	中部	17	43	2.53	8以上	16以上
	県中部地域		42	65	1.55	7以上
県西部地域	西部	19	34	1.79	10以上	20以上
	浜松市	28	41	1.46	7以上	14以上
	県西部地域		47	75	1.60	8以上
県全体		139	287	2.06	8以上	16以上

※県独自の注意報レベル：令和4年10月以降の第8波の新規感染者数の推移から、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を、暫定的に県独自の注意報レベルとして設定しています。（例えば、賀茂保健所の定点医療機関当たり患者数は13以上で注意報レベルということになります）

※県独自の警報レベル：1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり400人以上となった水準を、暫定的に県独自の警報レベルとして設定しています。

3 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜5週間の推移＞

保健所名	第43週 (10/23~10/29)	第44週 (10/30~11/5)	第45週 (11/6~11/12)	第46週 (11/13~11/19)	第47週 (11/20~11/26)	前週比推移	
県東部地域	賀茂	2.33	2.67	1.67	0.33	2.67	↗ ↘ ↘ ↗
	熱海	5.17	5.00	3.50	3.50	2.50	↘ ↘ → ↘
	東部	2.30	1.95	1.10	1.20	0.80	↘ ↘ ↗ ↘
	御殿場	10.33	8.00	4.67	5.50	8.17	↘ ↘ ↗ ↗
	富士	3.07	3.73	3.00	2.87	3.93	↗ ↘ ↘ ↗
県東部地域		3.84	3.62	2.42	2.44	2.94	↘ ↘ ↗ ↗
県中部地域	静岡市	2.24	0.96	1.12	1.52	0.88	↘ ↗ ↗ ↘
	中部	1.59	1.82	1.12	1.35	2.53	↗ ↘ ↗ ↗
	県中部地域		1.98	1.31	1.12	1.45	1.55
県西部地域	西部	3.05	2.21	1.53	1.05	1.79	↘ ↘ ↘ ↗
	浜松市	1.64	0.68	0.89	0.68	1.46	↘ ↗ ↘ ↗
	県西部地域		2.21	1.30	1.15	0.83	1.60
県全体		2.73	2.14	1.60	1.60	2.06	↘ ↘ → ↗

4 感染拡大注意報・警報

注意報レベル：感染者が急増するおそれがある状況

警報レベル：感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況

感染拡大注意報レベル以上の地域、保健所はありません。

(1) 県全体の状況

県全体	
8	16
2.06	
—	

【凡例】

保健所名	
保健所管轄市町名	
注意報の 基準値	警報の 基準値
定点当たり患者数	
現在の状況	

(2) 地域別の状況

県東部地域		県中部地域		県西部地域	
10	20	7	14	8	16
2.94		1.55		1.60	
—		—		—	

(3) 保健所別の状況

賀茂保健所	熱海保健所	東部保健所	御殿場保健所	富士保健所
下田市, 東伊豆町, 河津町, 南伊豆町, 松崎町, 西伊豆町	熱海市, 伊東市	沼津市, 三島市, 裾野市, 伊豆市, 伊豆の国市, 函南町, 清水町, 長泉町	御殿場市, 小山町	富士市, 富士宮市
13	9	8	17	11
26	18	16	34	22
2.67	2.50	0.80	8.17	3.93
—	—	—	—	—

静岡市保健所	中部保健所	西部保健所	浜松市保健所
静岡市	島田市, 焼津市, 藤枝市, 牧之原市, 吉田町, 川根本町	磐田市, 掛川市, 袋井市, 御前崎市, 菊川市, 湖西市, 森町	浜松市
6	8	10	7
12	16	20	14
0.88	2.53	1.79	1.46
—	—	—	—

<県民の皆様へ>

新型コロナ患者は少ない水準ですが、インフルエンザは警報レベルです。引き続き、以下の点に御留意ください。

- ① 医療機関や高齢者施設の受診や訪問時は、できるだけマスクを着用
- ② 症状（咳・熱・のど痛）が出た時は、学校や仕事を休んで療養を
- ③ 人が集まる所では、十分な換気・できるだけマスク着用・手洗い励行
- ④ 重症化等のリスクを下げるため、新型コロナやインフルのワクチン接種を検討

なお、近くに人がいないときや屋外では、マスクは不要です。

5 感染者全数の推計値

保健所名		定点医療機関の患者数 (A)	管内の定点割合 (B)※1	管内の感染者全数の推計値 (A/B) ※2
	賀茂	8	0.335	-
	熱海	15	0.268	-
	東部	16	0.150	-
	御殿場	49	0.505	-
	富士	59	0.215	-
県東部地域		147	0.221	665
	静岡市	22	0.109	-
	中部	43	0.154	-
	県中部地域	65	0.125	520
	西部	34	0.166	-
	浜松市	41	0.117	-
	県西部地域	75	0.134	560
県全体		287	0.158	1816

※1 定点割合

令和4年10月3日から令和5年5月7日までに定点医療機関から報告のあった患者数を、この期間の全感染者数で割った値。例えば県全体では、この期間の定点医療機関からの報告数は、全感染者数の15.8% (0.158) でした。

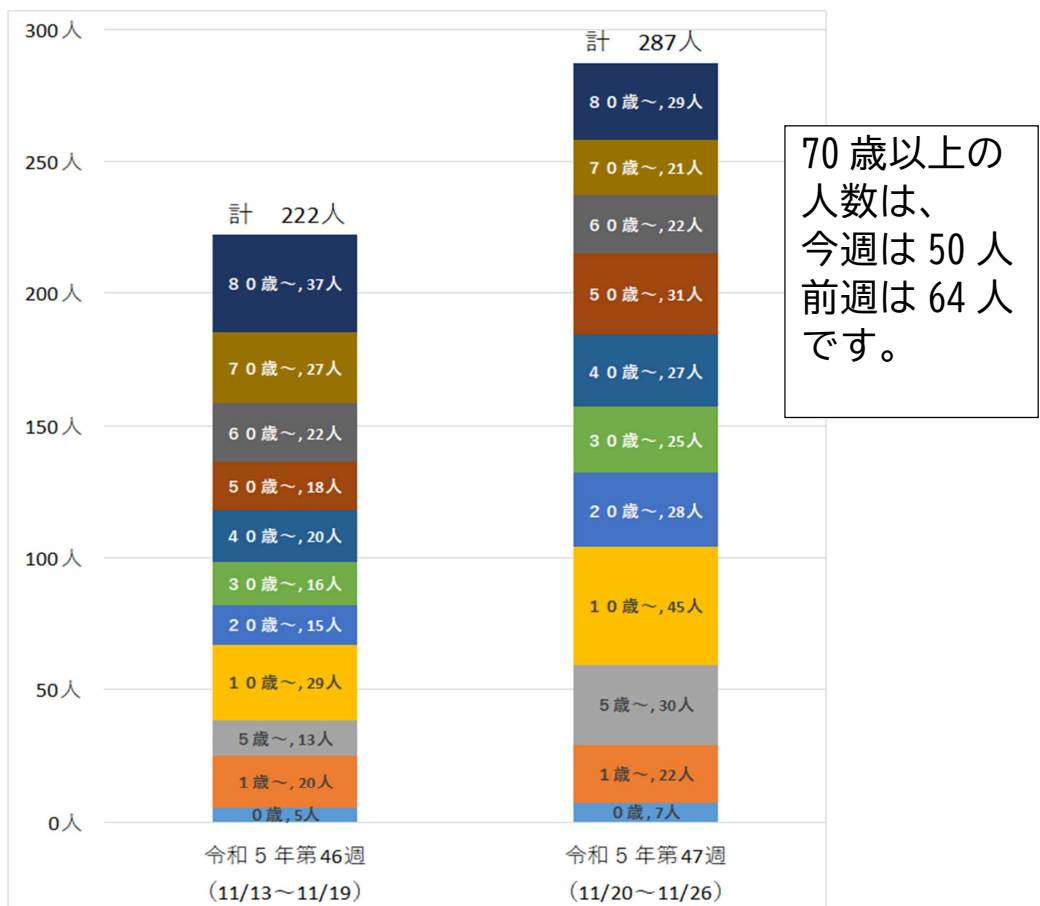
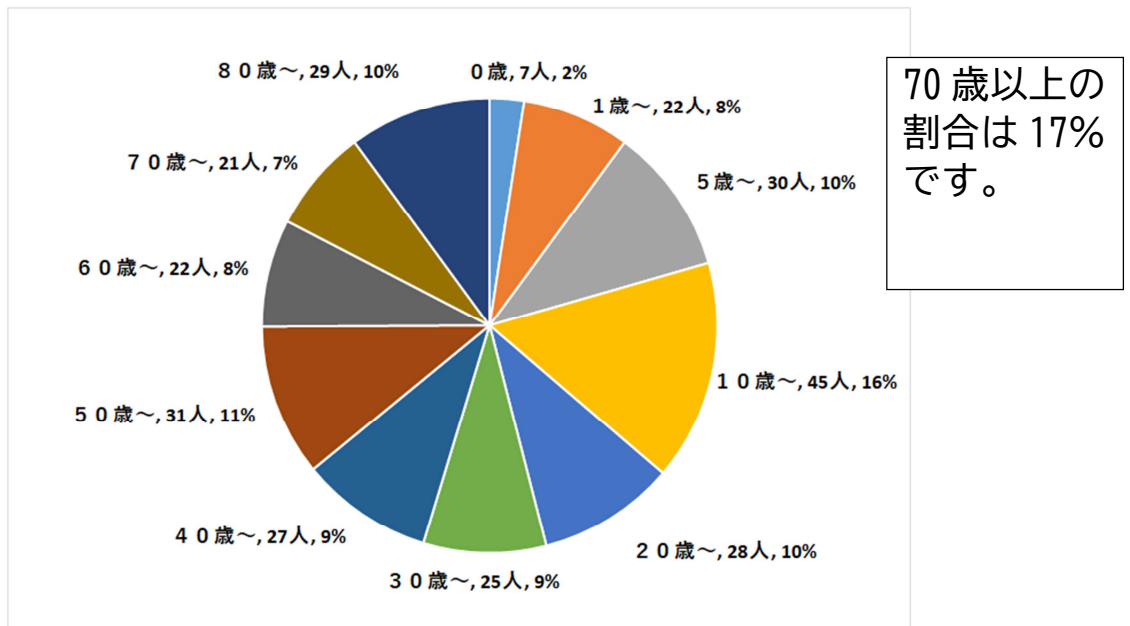
※2 推計値の算出方法

感染者全数の推計値は、定点医療機関の患者数を定点割合で除して算出しており (A÷B)、県全体の感染者数の全数は、 $287 \div 0.158 = 1,816$ 人と推計されます。各地域ごとに異なる定点割合で推計値を算出しているため、県東部地域、県中部地域、県西部地域の推計値の総和は必ずしも県全体の推計値と同じ値にはなりません。なお、人口が少ない地域は定点医療機関が少なく、算出される推計値は統計的に信頼性が低くなるため、各保健所ごとの推計値は示していません。

6 定点医療機関の年齢階級別患者数

0歳	1歳～	5歳～	10歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～
7人	22人	30人	45人	28人	25人	27人	31人

60歳～	70歳～	80歳～	不明	合計
22人	21人	29人	0人	287人



7 令和5年9月20日以降（令和5年秋開始接種） 3～7回目接種の実績

集計期間	全年代				65歳以上			
	静岡県			(参考)全国	静岡県			(参考)全国
	接種者数	接種者数累計	接種率	接種率	接種者数	接種者数累計	接種率	接種率
令和5年第43週 (10/23～10/29)	77,844	371,298	10.22%	10.30%	55,167	277,770	25.18%	26.37%
令和5年第44週 (10/30～11/5)	60,644	431,942	11.89%	12.04%	43,119	320,889	29.09%	30.60%
令和5年第45週 (11/6～11/12)	58,437	490,379	13.50%	13.76%	40,149	361,038	32.73%	34.67%
令和5年第46週 (11/13～11/19)	57,429	547,808	15.08%	15.27%	38,688	399,726	36.24%	38.15%
令和5年第47週 (11/20～11/26)	49,234	597,042	16.43%	16.49%	29,290	429,016	38.90%	40.83%

令和5年秋開始接種の概要

○接種時期 令和5年9月20日開始

○接種対象者 2回以上の接種を完了した者

- ・高齢者(65歳以上)及び基礎疾患のある者(接種の努力義務あり)
- ・上記以外の者であって生後6か月以上のもの(接種の努力義務なし)

○使用ワクチン 以下のいずれかを1回のみ接種可

- ・オミクロン株XBB.1.5対応1価ワクチン(ファイザー社及びモデルナ社) 前回接種から3か月以上経過
- ・武田社ワクチン(ノババックス) 前回接種から6か月以上経過

変異株に関する項目については、4月3日(月)分から当面の間、2週間ごとに集計しています。(今回は、11月13日(月)～11月26日(日)分の集計)

8-1 変異株ゲノム解析結果について(政令市除く)

10月下旬～11月上旬に発症した方について、国立遺伝学研究所(三島市)において実施したゲノム解析の結果は、以下のとおりです。(県所管分)

(結果判明日:11月14日(火)及び11月20日(月))

<変異株の件数>

保健所	賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株	0	0	2	0	0	0	3	5
	(内BA.2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	(内BA.5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(内組換体)	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(3)	(5)

8-2 本県の変異株の判明状況（11月26日時点）

		合計	県	静岡市	浜松市
合計 (デルタ株+オミクロン株)	判明者数	10,543	5,982	2,355	2,206
	(前回からの増加数)	(10)	(6)	(1)	(3)
デルタ株 (R3.5.16~)	判明者数	2,411	1,256	648	507
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
オミクロン株 (R4.1.1~)	判明者数	8,132	4,726	1,707	1,699
	(前回からの増加数)	(10)	(6)	(1)	(3)
※オミクロン株 【内、BA.2】	判明者数	1,430	667	432	331
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、BA.5】	判明者数	3,515	2,399	831	285
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、組換体】	判明者数	713	419	94	200
	(前回からの増加数)	(10)	(6)	(1)	(3)

※県：国立遺伝学研究所および国立感染症研究所でゲノム解析を実施

静岡市：国立感染症研究所でゲノム解析を実施

浜松市：浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

8-3 本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（11月26日時点）

	オミクロン株判明数				全オミクロン株に占める割合		
	合計	内、BA.2	内、BA.5	内、組換体	BA.2	BA.5	組換体
8月21日(月)～ 9月3日(日)	113	4	1	108	3.5%	0.9%	95.6%
9月4日(月)～ 9月17日(日)	75	0	2	73	0.0%	2.7%	97.3%
9月18日(月)～ 10月1日(日)	131	1	2	128	0.8%	1.5%	97.7%
10月2日(月)～ 10月15日(日)	57	1	1	55	1.8%	1.8%	96.5%
10月16日(月)～ 10月29日(日)	23	0	0	23	0.0%	0.0%	100.0%
10月30日(月)～ 11月12日(日)	3	0	0	3	0.0%	0.0%	100.0%
11月13日(月)～ 11月26日(日)	10	0	0	10	0.0%	0.0%	100.0%

8-4 ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む） （11月13日～11月26日判明分）

系統名※	判明数	割合
BA. 2. 75	0	0. 0%
BS. 1	0	0. 0%
BA. 4. 6	0	0. 0%
BQ. 1	0	0. 0%
XBB	10	100. 0%
その他	0	0. 0%
計	10	100. 0%

※国立感染症研究所「感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株について（第22報）」において、「引き続き国内外での動向の注視、知見の収集とともに、国内でのゲノムサーベイランスを継続していく必要がある」とされている系統を掲載しています。

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置付けが「5類感染症」となりました。

このため、感染状況の把握は、全数を毎日把握する方式ではなく、国が定める基準に従って指定された医療機関（定点医療機関）での患者数を1週間分まとめて把握する方式に変更されています。（季節性インフルエンザと同様の把握方法）